

集まれ！未来の創造者たち。

C-XROSS 2024
Construction Xross 2024

建設技術展2024関東 13、14日開催

併催 国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」

密接に連携し技術融合・革新を



開催に寄せて
国土交通省
関東地方整備局

局長 岩崎 福久

「建設技術展2024関東」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素が国土交通行政につきまして、格別ご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。関東地方整備局では、社会資本整備の3本柱として「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性を生かした地域づくりと分散型国土づくり」を掲げ、ストック効果の最大化や既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りながら、波及効果の大きなプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開しています。

今後、この社会資本整備を円滑に進めるためには、大切なパートナーであり地域の守り手である建設業が直面する

もある建設業の持続的な発展が必要であり、建設現場における生産性向上や働き方改革、担い手不足の解消などの課題を解決していく必要があります。国土交通省では、2024年を「インフラDX「展開の年」として、社会資本・公共サービス、働き方の変革などを実現するべく省横断的に取り組みを推進しています。関東地方整備局においても重点的な取り組みとして、i-Construction 2.0、ICT施工Stage 2、BIM/CIIMの活用に加えて、小規模工事におけるICT活用の普及拡大に努めています。今後、これらの取り組みが建設産業に浸透し、生産性向上や働き方改革などの課題解決に

「建設技術展2024関東」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素が国土交通行政につきまして、格別ご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。関東地方整備局では、社会資本整備の3本柱として「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性を生かした地域づくりと分散型国土づくり」を掲げ、ストック効果の最大化や既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りながら、波及効果の大きなプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開しています。

最新の技術や導入事例など紹介

本展示会は国土交通省関東地方整備局と協働で取り組むイベントとして臨場とオンラインで開催され、今回で5回目。開催時間は午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。初日の午前9時30分からオープニングセレモニーを開き、国交省や地方自治体、建設関連団体の幹部ら来賓を招きテーブルトークなどを行う。

会場では、190を超える企業・団体が出展し、新技術・工法や最新の導入事例、事業活動などを紹介。調査・設計から施工、維持管理といった建設生産サイクルの高度化・効率化につながる一押し技術が一堂に並ぶ。働き方改革、生産性向上など建設業が直面する

課題のほか、脱炭素化といった社会問題の解決に貢献する取り組みなど、幅広い分野で活躍する建設関連企業・団体の最新事例・動向も発信する。特設ステージでは建設行政・発注行政を担う国土交通省や東京都、神奈川県、東日本高速道路会社の技術系幹部らが講演。首都圏を中心としたインフラ整備や都市づくりなど、建設・インフラ産業の未来を展望する。

関東地方整備局主催の「建設技術フォーラム」では、X-Tech（クロステクノロジー）を実現する新技術をテーマに、最新技術（IoT、ロボット、AI等）の現場実装に向けた取り組みのほか、i-ConstructionやインフラDXの関連技術などを紹介する。

日本コンストラクション・マネジメント協会、建設コンサルタンツ協会関東支部、建設産業女性定着支援ネットワークがそれぞれパネルディスカッションを実施。コンキヤリ・マイナビは学生向けのセミナーイベントを行う。タレント活動をしながら1級建築士の資格を持つ田中道子さんのトークショーのほか、短編映画「ROAD IN G」の上映会&トークショー、重機をVR（仮想現実）で動かすシミュレーターや体型型コンテンツ「リジント」など、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるイベントを多数用意している。

展示会場では、日刊建設工業新聞の電子版機能の紹介コーナーも用意。記事・人事情報記事のほか、建築プロジェクト関連の記事をほか付けた地図情報検索など各種機能を体験できる。

技術展の参加は無料。土木学会CPDは13日4・単位、14日8.5単位、全国土木施工管理技術士会連合会CPDは各日2ユニット認定である。特設サイト(https://www.denai.co.jp/keigo2024/)で実施プログラムなどを詳報。オンライン展示会の会期は13日から12月27日まで。

190超の企業・団体が出展

本展示会は国土交通省関東地方整備局と協働で取り組むイベントとして臨場とオンラインで開催され、今回で5回目。開催時間は午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。初日の午前9時30分からオープニングセレモニーを開き、国交省や地方自治体、建設関連団体の幹部ら来賓を招きテーブルトークなどを行う。

本展示会は国土交通省関東地方整備局と協働で取り組むイベントとして臨場とオンラインで開催され、今回で5回目。開催時間は午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。初日の午前9時30分からオープニングセレモニーを開き、国交省や地方自治体、建設関連団体の幹部ら来賓を招きテーブルトークなどを行う。

本展示会は国土交通省関東地方整備局と協働で取り組むイベントとして臨場とオンラインで開催され、今回で5回目。開催時間は午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）。初日の午前9時30分からオープニングセレモニーを開き、国交省や地方自治体、建設関連団体の幹部ら来賓を招きテーブルトークなどを行う。

主催者あいさつ
日刊建設工業新聞社
代表取締役社長
飯塚 秀樹



「建設技術展2024関東」を開催しますことについて、主催者として厚く御礼申し上げます。おかげさまで建設技術展も関東地域で5回目の開催となり、出展者様、国土交通省関東地方整備局をはじめとする共催・後援の皆様のご支援のたまものと深く感謝いたしております。さて、今回の建設技術展テーマは「集まれ！未来の創造者たち」です。国土交通省関東地方整備局主催の「建設技術フォーラム」とコラボレートしながら、建設業の技術力を余すことなく発揮し、わが国の未来を形作る上で、貴重な機会となるよう企画いたしました。会場の200を超えるブースにはさまざまな建設技術が展示

本年も出展者・共催団体らによるプレゼンテーションやパネルディスカッションのほか、イラスト展や写真展など建設業の魅力を伝えるイベントを数多く用意しています。コンキヤリによる「建設産業を目指す学生のための就職セミナー」、マイナビ学生の窓口とタイアップした「建設業界の魅力を探る学生向けイベント」も開催します。大

未来を創造する人たちが集う場に

学生だけでなく、関東圏の工業高校から多くの生徒が来場し、会場内の見学ツアーに参加いただく予定です。こうした大学生や高校生を対象としたイベント企画も建設技術展の大きな特徴となっています。

社会資本ストックの維持・更新、激甚化・頻発化する自然災害への対応、地球温暖化防止に向けたカーボンニュートラルの実現など、建設技術に対するニーズはこれまで以上に多様化・高度化しています。建設業はこうした社会的課題への対応に加え、デジタル技術も駆使して生産性の向上、担い手の確保・育成に努めていくことが求められています。

出展者 来場者お一人ひとりが「未来の創造者」であり、建設技術展を「新たなビジネスの出会いの場」としてお役立くださいますようお願い申し上げます。

ステージA＝展示ホールC（3階）			
〈13日〉			
10：30～11：20	基調講演 廣瀬昌由氏（国土交通省技監）＝国土交通省インフラDXの取組～i-Construction2.0で目指す建設現場のオートメーション化～	11：30～12：20	講演 松坂敏博氏（東日本高速道路常務執行役員関東支社長）＝NEXTCO東日本が描く未来の高速道路
13：15～16：40	国土交通省関東地方整備局主催「建設技術フォーラム」 ・あいさつ 岩崎福久関東地方整備局長 ・活動紹介 渡邊良一関東地方整備局企画部長＝未来を切り拓く 関東インフラDX 【施工現場におけるICT施工の普及促進】 ▷小俣陽平氏（関東地方整備局ICTアドバイザー／金杉建設）＝地域建設業者が取組む、大規模工事～小規模工事のICT施工技術活用	13：50～14：00	出展者プレゼンテーション エイト日本技術開発 出展者プレゼンテーション J R東日本コンサルタンツ
〈14日〉			
10：15～11：15	上映会&トークショー 短編映画「ROAD IN G…」（協力＝クリエイティブ・ラボ）	11：30～12：00	出展者プレゼンテーション 和建
12：10～12：40	出展者プレゼンテーション 応用地質	12：50～13：20	出展者プレゼンテーション J F Eグループ
13：30～14：00	出展者プレゼンテーション 新潟県	14：15～15：35	学生向けイベント マイナビ学生の窓口＝建設業界の魅力を探る

鹿島		
革新的光ファイバ計測技術／A ⁴ SECEL for Tunnel 山岳トンネルの自動化施工システム		
■革新的光ファイバ計測技術 従来技術よりも高速・高精度な計測で構造物の状態を「見える化」。し、データに基づく高品質なインフラの構築、効率的な維持管理を実現します。 ・数値にわたって数センチでひずみ・変動、振動を計測 ・地盤や構造物の変位把握が可能 ・数十年以上の長期観測が可能 ・通信用光ファイバの活用によって、低コストで効率的なモニタリングを実現 ■山岳トンネルの自動化施工システム 山岳トンネル掘削工事の「穿孔」「装薬・発破」「アタリ取り」「付け付」「ロックボルト打設」で使用する重機の自動化を進め、次世代の山岳トンネル自動化施工システムの構築により、安全性と生産性の向上を両立させます。		
北越メタル		
災害に強い国土強靱化の実現へ貢献する企業		
私たちは、鉄スクラップを主原料として、電気炉を活用し素材から加工までさまざまなカタチの鉄鋼製品を生産する鉄リサイクルメーカーです。 今回の展示では、型枠工と鉄筋工事が一挙に行える鉄筋付デッキ「ファブデッキ」、高強度且つ溶接性に優れた杭頭補強筋「New J-BAR」、高強度せん断補強筋「UHYF-7」の建築資材に加え、トンネルや擁壁、崖を補強する為の特殊ボルト類、各種メッシュ筋等の土木資材を紹介させていただきます。また、「ロックボルト」を用いるトンネル工法であるNATM（新オーストリアトンネル工法）の施工手順をお伝えするジオラマを展示、ノベルティもご用意しておりますのでお気軽にお立ち寄り下さい。		
日特建設		
見えないところにこそ、私たちのプライドがある 私たちは、見えないところにこそ、誠実に技術を提供して、社会から必要とされる企業であり続けます。		
日特建設は、1947年（昭和22年）、ダムの基礎処理を創業工種として始まり77年、環境防災、維持補修、都市再生分野の専門工事に特化した地質に強い施工会社として評価をいただいております。昨今、日本では地震や台風・豪雨などによる甚大な災害が頻発しており、建設業界には国土強靱化、および減災への対応が求められております。また、地球規模で見ても喫緊の課題が山積しております。これらの様々な課題解決に加え企業価値向上のため、人的資本の確保と育成、生産性の向上、安全衛生・品質管理の強化、サステナビリティ経営の促進、新分野への挑戦に取り組んでまいります。		
韓水NATECH（ナテック）		
韓水NATECHは、110℃で生産可能なPCMA（Polymer Cool Mix Asphalt）を開発し、CO ₂ を40％減少できる舗装技術を開発した。		
韓水NATECHは、特殊アスファルト、アスファルト添加剤、道路補修材料を開発生産する会社です。 PCMAは、生産温度を約110℃に下げて二酸化炭素排出量を40％減らすと同時に改質アスファルトの強度レベルを確保できるSDGsに配慮したアスファルト舗装材料です。 この他に道路騒音を徹底的に低減させる低騒音アスファルト舗装など多様なアスファルト舗装の技術、またボットホール補修材「Speed Ro Pocket」、クラック補修材「HS-Band」、加熱補修材「HS chip-seal」など様々な道路補修材を生産・販売しており、韓水NATECHは、持続可能な道路インフラ構築に貢献します。		
奥村組／奥村機械製作		
〓人と自然を技術でむすぶ。奥村組グループです。 奥村組グループの最新の取組についてご紹介！		
建設技術展2024関東では、奥村組グループの最新の取組内容についてご紹介します。奥村組からは、最新技術のアレキラストP床版の新しい継手工法「Zスライバル工法」、パラメトリックツールを用いた最新のICT技術、コンクリート統合管理システム、下水道包括的維持管理の取組みをご紹介します。奥村機械製作は、得意とするシールドマシンの製作技術に加え、天井クレーンや直上高架施工機などの製作品についてPR致します。皆さまの御来場を、心よりお待ちしております。		
ワイビーエム		
ICT地盤改良工の最適解 NETIS登録		
ワイビーエムが開発した『Y-Navi（杭芯位置誘導システム）』は、3次元計測技術を用いた「出来形管理要領（案）第8編 固結工（スラリー攪拌工）編」に準拠したICT地盤改良システムで、NETISに登録されています。（登録番号：QS-230040-A） Y-NaviはICT地盤改良工のすべての手順（マシンガイダンス作成、杭芯施工位置誘導、出来形管理、出来形帳製作）にシームレスに対応しており、地盤改良工事におけるトレーサビリティの向上、エビデンスの蓄積を図ることが可能です。 2020年の販売開始以来、施工実績は順調に推移しており、公共工事等で活用されています。		

C-XROSS 2024 Construction Xross 2024			集まれ！未来の創造者たち。		
アサヒ産業／伊藤忠T C建機			ピーエス・コンストラクション		
C-13 仮設機材メーカーと建機商社が提案する「安全」「短工期」「省力化」ソリューション 「機型作るの大変でした…。貴方が見に来てくれないと私、社長に怒られます。」な件			C-15 道路橋の床版取替工事ははじめ、様々なコンクリート構造物の補修・補強技術を多数展示。		
◆次世代足場『ミレニウム』は、国土保全のため様々な土木工事で利用されている手すり先行式システム足場＆支保工です。NETIS登録技術の『MN-NORIMAX工法』や、『MN-NK BRACE支保工法』、『Re.PUSH吊り足場工法』などの現場事例を機型とパネルでご紹介します。 ◆金網の打ちりに登場した『マルチGRID』は、軽量1kg、厚み4mm、耐候性20年以上、燃焼、引張強度1600N以上、曲げても折っても大丈夫！NETIS登録技術です。有効利用されている土木工事事例をご紹介します。 ◆『F砂S工法』は、タンク内で水と砂を加压した泥化研削材を使用した1種クレン仕様線路調整工に用いる駆式プラスト工法です。研削面の戻り錯對を考慮して経済性、安全性、施工性の向上が期待できます。			C-16 ～日本道路の地球にやさしい工法～ 未利用バイオマス材料を舗装材に添加することで炭素固定できる技術		
C-15 基礎工事を通して持続可能な社会の実現へ 場所打ち杭のリーディングカンパニー			C-16 日本道路		
当社は杭基礎工事や地盤改良工事の施工を行う杭専門工事会社です。 現場では、排ガス規制対象重機の使用、バイオ燃料やGTL燃料への転換、EV・燃料電池車の活用を積極的に行っています。 地下水の汚染や汚染土対策に有効な残土処理の必要が無い無排水工法である「つばさ杭」の施工で、環境にやさしい杭工事を提供しています。 また、クレーン活動などの地域社会への貢献活動も積極的に実施しています。安全で安心して働ける健康経営の取り組みとして、健康企業宣言を行い、「金の認定・銀の認定」取得に取り組んでいます。今後も脱炭素・気候変動問題にどう対応していくかの取り組みを加速し、杭事業を通じてSDGsへ貢献してまいります。			大気中における二酸化炭素の濃度が年々増加し、地球温暖化が深刻化しています。しかし、大型トラックや航空機、工場などから出る二酸化炭素の「排出量」に関して、削減の取り組みが行われていますが、限界があります。弊社は、二酸化炭素の「吸収量」に着目し、大気中の炭素が吸収された“未利用バイオマス（木・樹皮・竹）”を原材料とした木質成型ブロック『木煉』、さらに“未利用バイオマス”を炭化した“バイオ炭”をアスファルト混合物の砂の代替で添加した「バイオ炭アスコン」を、2050年のカーボンニュートラル達成にむけて有効な炭素低減技術としてご紹介致します。		
C-17 ニュージエック			C-19 早川ゴム		
C-17 次世代型流量観測 & 防災・維持×DX			C-19 時代のニーズに合わせた省人化・省力化・IoTを中心としたNETIS登録製品を展示します。 早川ゴムブースへ是非ご来場ください。		
次世代型流量観測として、①河川水面を撮影した動画を基に画像解析により流量を算定 ②河川水面の波から流速を計測して電波流速計で観測して流量を算定 ③H-ADCPにより水中の横断流速分布を観測して流量を算定 の技術を開発し、業務等に活用しております。①については、『映像とAIによる河川流量の自動観測システム（Hydro-STIV）の開発』をハイドリ総合研究所と開発、土木学会技術開発賞を受賞したので紹介します。その他、河川財団とともに開発した水空ドローンなどについて紹介します。			ワンタッチ固定で施工可能な誘発目地材（NETIS登録番号CB-240018-A）として新たにサンタックス・バンシール誘発目地材がNETIS登録されました。固定治具を用いたワンタッチ施工に変えたことにより、結束線や工具、密着作業が不要となるため、省力化が可能となり、熟練工に依存しないため、経済性および施工性が向上します。IoTの分野では調圧システムがあり、コンクリート養生の管理を養生マット含水率によって実施します。自動測定＋自動放水および停止に変えたことによって、省人化・省力化、管理まで行えるシステムです。また、亜鉛イオンが植物の生育を抑制する効果を利用した雑草対策の草ゼロプレートなど、多種多様な分野のNETIS登録製品を扱っております。		
C-20 極東貿易			C-22 復建技術コンサルタント		
C-20 「過酷な環境に最適なECU&センサー」			C-22 蛍光X線分析法と拡張現実技術によるコンクリート塩分濃度調査技術 中小河川管理用ソフトe-River/河床変動量等自動計測ソフトe-Inspection		
過酷な環境で動作する自律動作マシン、AIアプリケーションに最適なECU&センサーを展示します。 ▶NVIDIA Jetson搭載 ECU／エッジコンピュータ ▶XSENS 慣性センサーモジュール（IMU, VRU, AHRS, GNSS/INS）			当社は東北大学吉川研究室、日本大学岩城・前島研究室、エビデント、XMATと共同で、非破壊検査法である蛍光X線分析法と拡張現実技術を組合せた新しい調査工法を開発。従来手法（ドリル法・化学分析法）に比較し、工程やコストを大幅に圧縮。またUV画像とAIを用いて、河川堤防先端舗装のひび割れ箇所を自動検出するソフト「e-Inspection」を開発。e-Inspectionは、二時期のUVデータを比較し、差分抽出（護岸変状、土砂堆積、植生繁茂等）も可能。これらの機能により、河川巡視・点検の効率化・高度化に貢献します。そして、e-Riverを活用することで、より効率的な河川維持管理が実現できます。		
その他、自律移動ロボット、建設ロボットの開発に関わる製品のご提案を致します。 お気軽にブースへお立ち寄りください。			C-25 ケイコン		
C-23 イマギイレ			C-25 プレキャスト大型波返しブロック「フレア護岸」、プレキャスト護岸嵩上げ工法「かさ上げくん」、脱炭素社会に貢献するプレキャスト製品の総称「MAMORETE」		
C-23 自走式破砕機・自走式スクリーン等の環境リサイクル機械のレンタル・販売及び修理を事業展開しております。			「フレア護岸」は、特異な円弧形状で波を滑らかに沖へ返すことが出来る護岸で、天端高を低く抑え、消波ブロックも無くすることから、海岸景観の阻害や前面砂浜の消失といった従来の課題が解決できます。また、現場持ち併用でプレキャストを曲面部分に絞ることにより、施工性と経済性を両立させています。 「かさ上げくん」は、既設護岸の小規模嵩上げ工事に対応した新製品です。仮設不要の単純施工により、現場打ちに比べて大幅な工期短縮と労務削減を実現します。 さらに、弊社の脱炭素製品の総称として「MAMORETE」の技術を紹介しております。展示ブースでは「フレア護岸」の迫力ある波返し状況の映像をお見せしていますので、是非ともお越し下さい。		
イマギイレは、建設機械、環境リサイクル機械、情報化施工機器、微細水ミスト噴霧器などの幅広い商品を経済合理性のあるレンタルというサービスでご提供しています。 特に、環境リサイクル機械のラインナップ・保有台数（150台以上）は業界トップクラスを誇り、知識・経験豊富なスタッフがお客様の現場に合わせた最適な現場環境ソリューションを提案致します。 近年持続可能な未来のために様々な企業が取り組むSDGs。イマギイレは、リデュース・リユースによる循環型社会の形成によって環境負荷の低減を実現するレンタルビジネスを通して、豊かで明るい未来の実現を目指します。			KANSOテクノス		
C-26 エイト日本技術開発			C-28 地中埋設物等の非破壊探査、建物、水路構造物などのインフラ管理はもちろん、河川・海洋調査もお任せください！		
C-26 インフラDXの実践 ～エイト日本技術開発からの提案～			目視では確認できない地中構造物や埋設物、地層の確認を、豊富な非破壊検査技術で検出します。その中から、撤去・新設工事の設計に貢献します。 小水力発電所のみならず各種水路構造物には、弊社が保有する特殊ドローン・ROVで、設備管理者様が抱えている様々な課題解決のご提案をさせていただきます。 環境事業部は、気象観測と森林・河川・海洋における様々な環境・生物調査もご提案し、持続的な社会実現のために貢献し続けています。 建築事業部は一級建築士事務所の立場で建物調査・実施設計を行い、お客様のご意向を確認しつつ、適切な浸水防止策の取替計画をご提案します。		
エイト日本技術開発は、総合建設コンサルタントとして培った技術と最新のデジタル技術を融合し、防災・維持管理等様々な分野で「インフラDXの実践」に取り組んでいます。 昨年度注目技術賞優秀賞を受賞したAUV（自律型無人潜水機）にASV（自律型無人計測艇）を加えた水中計測技術や、魚類を種別ごとにカウントできる魚類AI技術などの最新事例をご紹介します。 また、土木構造物のさまざまな形式の点検データを地図上でまとめて管理できる「in Map」や、地域住民の水防災意識向上のための「防災マンガ」も合わせて出展いたします。			KANSOテクノス		
SUPERJET研究会／X-JET協会			C-29 アルロックジャパン		
C-29 巨大地震対策工事の切り札 ー大型高速地盤改良のSUPERJET工法、一定の改良径を実現するX-JET工法			C-30 「そのボルトの緩み問題、解決しませんか？」 NETIS活用促進技術で唯一のボルト緩み止め【ノルトロックワッシャー】		
本工法は開発以来、立坑築造に伴う底盤改良や先行地中梁、シールド工事に伴う坑口防護、地中接合等の仮設工事に適用されてきました。近年では、社会基盤整備や維持修繕事業への適用が増え、耐震補強や液状化対策工事に用いられており、おかげさまで約30年の実績を重ね、2000件以上の工事実績があります。 SUPERJET工法は、改良径φ2.0m～φ6.0mのタイプを取り揃えており、高速化と大口役化を図った工法です。X-JET工法は、改良径φ1.5m～2.5mのタイプを取り揃えており、2本の超高圧ジェット噴流を一定距離で交差させることで、地盤の硬軟に左右されず一定の改良径が造成できる技術です。			弊社は、あらゆるボルト締結の課題を共に解決するパートナーとして、安全で確実なボルト締結はもとより、作業時間の短縮化や省力化、メンテナンスによるダウンタイムの削減といった作業の効率化に貢献します。本展示会では、NETIS活用促進技術に認定された唯一のボルト緩み止め「ノルトロックワッシャー」や、発売以来大好評をいただいておりますノルトロックの一体型新製品「ノルトロックワッシャー 組込みボルト」、「コンヒット」の他、太径ボルトにも簡単に締結する機械式テンショナー「スーパ－ボルト」やデジタル技術でボルトの軸力を可視化する「ロードセンシング・テンショナー」「ロードセンシング・フレックスナット」をご紹介します。		
PAN WALL工法協会			大日本ダイヤコンサルタント		
C-32 省人化、省力化を実現した安全性の高い地山補強土 PAN WALL（パンウォール）工法			C-33 大地と空間、人と社会の可能性を引き出し、未来を拓く。 信頼のこけ、社会になくてはならない企業グループに。		
「PAN WALL工法」は、表면에プレキャストコンクリート板を用いた急勾配化（垂直～5分、3分標準）が可能な地山補強土工法である。小型機械での施工や、「逆巻き」「順巻き」施工の応用により、現道交通を確保しながらの谷間拡張工事や災害復旧にも活用できる。また在来工法では困難であった、高速道路の拡幅、新設河川や河川改修の護岸、既設構造物の補強、土留め等においても効果を発揮できる工法である。 全国施工実績1300件以上、面積38,0万㎡以上、「土木学会 技術推進ライブラリーNo.14」「CB-170019-VE【活用促進技術】」			大日本ダイヤコンサルタントは、構造物の計画・設計に強い大日本コンサルタントと、地質・地盤の調査・解析に強いダイヤコンサルタントの合併会社です。60年以上の実績と高度な技術サービスで、社会課題の解決に挑戦し、両社の強みを活かした技術開発でサステイナブルな社会を実現するために取り組んでいます。 建設技術展2024関東では、地表踏査等での地質図、断面図、ルートマップをリアルタイムで表示するアプリ「ダイヤ電子野帳」や、水文調査における観測作業の効率化、ヒューマンエラーの防止を目的に開発した「水文観測総合アプリ」などの現場支援アプリ、橋梁の点検診断・原因分析・補修工法の選定にAIを用いたプラットフォーム「橋守AIヘルパー」、インフラの健全性評価・長寿命化に貢献するため法面点検作業にUV技術とDX技術を導入した「のり面点検装置」のなどをご紹介します。		
C-33 鉄道建設・運輸施設整備支援機構			国土防災技術／サンスイ・ナビコ		
C-33 建設技術展に初出展 令和6年3月に開業を迎えた北陸新幹線の建設技術 持続可能な社会に向けて “シンカ”「建設DXビジョン」			C-36 土と水と緑の技術&斜面防災に関する製品をご紹介します！		
鉄道建設・運輸施設整備支援機構は、整備新幹線や都市鉄道などの鉄道建設プロジェクトを、ルート選定から路線開業に至るまで一貫して行うことができる鉄道技術者集団であり、これまでに整備した全国の鉄道路線は125路線、総延長は約3,800kmとなります。今回、令和6年3月に開業を迎えた北陸新幹線（金沢・敦賀間）に採用した建設技術や、建設業界、鉄道業界の未来を見据えて策定した「建設DXビジョン」、鉄道建設における環境への取り組み、自然災害により被害を受けた鉄道事業者を支援する新たな取組み「鉄道災害調査隊（RAIL-FORCE）」について紹介します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。			国土防災技術 土と水と緑の技術で社会に貢献する建設コンサルタントです。本展示会では、以下の技術をご紹介します。 ・高品質コア採取技術・Q Sボーリング工法 ・特殊土質試験 ・蛍光X線分析装置を活用したコンクリート塩分調査		
サンスイ・ナビコ 斜面に関する防災・復旧・緑化の各ステージに必要な土木資材を、開発・製造・販売する斜面の専門会社です。本展示会では、以下の技術をご紹介します。 ・Fixr（フィクス）グラウンドアンカー工法 ・仮設ECOPラット工法 ・ロックボルトバックカー			C-39 日さく		
C-38 ～橋梁維持管理・橋梁長寿命化対策製品～ アルミ合金製常設足場「cusa（キュウサ）」			創業明治45年の実績を基に、さく井・土木・調査の3部門に加え製造部門を擁する強みと、蓄積した技術と経験を活かし、きめ細かいサービスの提供に取り組んでいます。 井戸に取り付ける手押しポンプは、災害の発生によって、水道水の供給が途絶えた場合でも、動力源不要で生活用水の確保ができます。また、ポンプ部が水面下となる構造のため、地下水の低い井戸でも優れた揚水能力を発揮します。 当社は災害対応の初動において、UVで撮影した3次元情報やオルソ画像を活用して、これにより危険な災害現場に立ち入ることなく、現場の地表面モデルが得られるため、迅速かつ安全な初動対応が可能となります。 地すべり防止施設は、維持管理・修繕による長寿命化を図ることが重要であるため、レーザスキャナを用いた測定により、3D点群データで施設状況を見える化します。		
橋梁に5年に一度の定期点検が義務付けられ、検査者に替わる桁全体を覆う常設足場が注目されています。この設備により橋梁点検車等による車線規制が不要となり、常設足場の中で床版下面や桁材の面的な近接目視点検が可能となります。 アルミ合金製常設足場「cusa」の歩面はフラットで台車による資機材運搬も可能なため補修作業の足場としても利用できます。 また、桁本体をパネルで覆うことで飛来塩分等の侵入を防ぎ桁本体の腐食環境が大きく改善されるとともに、床版コンクリートの剥落等による第三者被害の防止にも寄与します。 橋梁の維持管理の省力化と長寿命化を提供するcusaは、橋梁老朽化対策の最適解です。			C-40 総合資格		
C-40 横河ブリッジ／日軽エンジニアリング			C-40 建設業界の未来を、人材から変えてゆく。 「総合資格」が建設業界の資格取得支援・就職・転職支援サービス		
C-40 ～橋梁維持管理・橋梁長寿命化対策製品～ アルミ合金製常設足場「cusa（キュウサ）」			「総合資格」は、全国約70拠点で建築士・施工管理等、建設系資格試験合格を支援する「総合資格学院」を運営する資格指導のプロです。特に1級建築士の合格実績は毎年日本一です。 ① 建設業界特価の「人材紹介サービス」で企業様と求職者をベストマッチング！ ② 建築・土木学生の総合情報サイト「総合資格navi」で企業様と学生を繋ぐ！ ③ 建設業界に特化したWeb合同企業説明会をR7年5月に実施予定です！ 総合資格は建設業界の未来を人材から変えてゆきます。 業界特化の「総合資格」だからこそ出来る資格取得支援・人材支援サービスを、ぜひ一度お試しください！		
C-40 中大実業			C-40 ①令和6年度推奨技術に選定された床版排水技術「クワトロ・ドレーン」 ②川裏側に設置する新しい無動力ゲート「マルチフラップゲート」		
C-40 ①令和6年度推奨技術に選定された床版排水技術「クワトロ・ドレーン」 ②川裏側に設置する新しい無動力ゲート「マルチフラップゲート」			①橋梁床版防水層の早期劣化等による防水層の下面に入り込んだ水も排水可能にした新技術です。従来になかった下部排水管の脱落を防止する機能や腐食を防止するなど4つの新しい機能が搭載したのが「クワトロ・ドレーン」です。 ②樋門や樋管に設置されているゲートの管理は、大雨が降る度に昼夜関係なく人力で操作していました。昨今では管理人を不要とする無動力自動開閉ゲートも登場していますが、大規模工事が必要で採用が困難なケースもありました。災害対策が急がれる今、従来のゲートはのまに新しく川裏側に低コストで簡単に設置することができるとの、「マルチフラップゲート（無動力減災ゲート）」です。		

第3種郵便物認可			日 刊 建 設 工 業 新 聞			2024年（令和6年）11月7日（木曜日）			（8）		
C-XROSS 2024 Construction Xross 2024											
大豊建設				若築建設				東急建設			
C-41 大豊建設は「信頼に応える確かな技術」を礎に得意工法であるニューマチックケーソン工法と泥土加圧シールド工法を軸として、防災・減災、国土強靱化の事業を担っています。				C-42 試験噴霧機構付きCPTビデオコーン貫入試験器「WIT-video-CPT」				C-43 PPCaボックスカルバート（部分プレキャスト部材を用いたボックスカルバート構築工法）トコドリ（東急建設の“みず、と”“みどり、と”“いきもの、の”技術）			
大豊建設は常に時代の先を見据え、ニーズの変化を的確に予測して対応することで、数々の実績を築いてきました。それを可能にしているのは、どんな時代にも対応できる技術力。独自開発したニューマチックケーソン工法と、長きにわたって技術を磨いてきた泥土加圧シールド工法は、大豊建設が特に誇りとする技術です。何より大切なのは、そのノウハウを継承し、改良し、現場で工夫・努力し続ける優れた技術者たちの存在です。大豊建設は、「信頼に応える確かな技術」で、安全、品質、工程、コストを徹底的にマネジメントして、着実に工事を進めています。				「WIT-video-CPT」は、ビデオカメラを有した電気式コーン貫入試験機（video-CPT）に、試験を噴霧する機構を備えたものです。試験を使い分けることにより地盤の酸性、アルカリ性を視覚的に判断できます。セメント系地盤改良工法の施工直後において、コーン貫入試験（貫入時）および試験テスト（引抜時）を一連で行うことにより、効率的に改良地盤の品質や出来形を可視化することができます。				PPCaボックスカルバートは、現場打ちボックスカルバートの側壁、頂版を部分的にプレキャスト部材へ置き換えたボックスカルバートの構築工法です。軸方向鉄筋等が内蔵された部分プレキャスト部材を組み立て、中詰めコンクリートを打ち込むことでボックスカルバートを構築します。トコドリは、東急建設のグリーンインフラのブランドです。自然の力を活用して都市の課題を解決する東急建設の“みず、と”“みどり、と”“いきもの、の”技術には「アクアプラ」「雨庭」「バイオスウェル」「クラピア」「テラボンド」「貯留水循環型ピオトープ」「BSET」「CSET」があり、サイトで紹介しています。			
エヌ・ティ・ティ・インフラネット				日本コンストラクション・マネジメント協会				新潟県（Made in 新潟 新技術）			
C-44 立会受付Webシステム				C-45 発注者の立場に立ったコンストラクション・マネジャーが主体的になって建設プロジェクトを推進していく「CM方式」が注目されています。				C-46 Made in 新潟 新技術 ～新潟県がバックアップする土木・建築の新技術～			
工事申請者が埋設物照会を実施したい範囲をWeb上で申請し、その申請内容を受付者がWeb上で確認・回答することができるサービスです。システム化することによる24時間受付、受付情報の一括管理と共有化、処理のDX化により進捗管理等も効率的に実施できます。また、設備有無の自動判定機能（オプション）により、工事会社から申請された工事範囲における埋設物有無を自動で判定することができるため、スキルレスによる判定が可能となります。判定時に埋設物が無い場合には工事会社にて自動で返信するため、埋設物確認作業の省力化を実現しています。				新たな建築生産方式として、発注者の立場に立ったコンストラクション・マネジャー（CMF）が、プロジェクトの目標や要求の達成を目指して、プロジェクトを主体的に進めしていく「CM方式」が注目されています。今年で3回目となる出展アースでは、大型パネル展示「解説：CMってなんだ？（解説）」・「実績：CM選奨2024受賞作品」および大型モニターで動画コンテンツの放映を行います。ステージプログラムでは、11月14日（木）14：30から特設STAGE A【3F展示ホールC】にてパネルディスカッション「学生の私たちが考える、マネジメントの可能性とキャリア」にて、将来建設マネジメント領域での活躍が期待される若手たちが登壇します。				新潟県では、県内企業が開発した土木・建築分野の新技術を募集し、当県等が発注する工事に使用した結果を含めて広く情報提供し、新技術の普及と活用を促進しています。本展示会では、全173登録技術の中から、4技術をご紹介します。ぜひ、当アースに足をお運びください！ 【出展技術】＜側溝上部改修工法「ネプラス工法」／高橋土建＞、＜在来植物による飛砂防止緑化工法『はまみどりマット』／グリーン産業＞、＜さまざまなシートに対応可能なシート止め杭「フラット杭」／浅野木工所＞、＜高輝度・LED矢印板『TWIN・VISION』／レックス＞			
三信建設工業				福田道路				安藤ハザマ			
C-47 未来への3つの約束 「国土を支える」「自然災害から守る」「次世代へつなぐ」				C-48 新たな歴史を共に築こう！ ～生産性向上、社会課題解決に挑戦する企業～				C-49 「菌の呼吸」を活用した水銀汚染土壌・地下水浄化技術およびコンクリートの自己治癒・腐食抑制技術			
私どもも三信建設工業は1956年の創業以来、地盤に関わる特殊基礎土木の専門工事業者として、地下を支え、山を抑え、水を止める地盤処理技術で、様々な事業分野の課題解決に取り組んでまいりました。社名に由来する社訓「信義を重んじ、信念を持って事に当たり、信用第一と心がけよ」、そして創業の精神「優れたもの、個性のあるもの、価値のあるものの創造」が変わらぬ当社の原点です。68年間磨き上げた確かな技術と豊富な経験のもと、当社はこれからも挑戦を続けてまいります。				福田道路は、道づくりを通じて地域社会に貢献することを信念に、技術開発や製品の普及に努めています。今回の建設技術展では、全国道路施設点検データベース（X-Road）に対応したAIを活用した路面診断技術「マルチファイナアイ」をはじめ、PET資源のリサイクルにより再生と長寿命化を実現する「ファインPET-S」、独自の誘導装置を用い、建設現場の車両誘導を無音にするシステム「おとなしくん」など建設業の生産性の向上、作業環境改善、安全性の向上などにつながる多くの技術を展示します。道路建設に関わるツールを提供し情報交換できる場としますので是非とも当社アースへお立ち寄りください。				安藤ハザマは「菌の呼吸」の使い手です。酸性環境で鉄呼吸する鉄酸化細菌は、高濃度水銀汚染環境で生存可能です。水銀汚染された土壌・地下水に鉄酸化細菌と栄養塩を投入することで、水銀イオンを分離除去することが可能です。本技術は実証実験における浄化効果が認められ、国内初のバイオレメディエーション指針の適合確認を受けました。アルカリ環境で好気呼吸するAH菌は、コンクリートのような強アルカリ環境下でも活動可能です。好気呼吸ではコンクリート中の溶存酸素を消費することで鉄腐の腐食の進行を抑制し、その代謝物である二酸化炭素の鉱物化反応によりひび割れを自己治癒することが可能です。ぜひ、アースにお立ち寄りください。			
首都高速道路会社				首都高グループ 首都高速道路技術センター				首都高グループ 首都高技術			
C-50 首都圏のひと・まち・くらしを安全・円滑な首都高速道路ネットワークで結び、豊かで快適な社会の創造に貢献します。				C-50 首都高速道路の建設・維持管理で培った技術・知見を有効に活用し、安全で安心な社会インフラが支える豊かな未来社会の創造に貢献します。				C-50 首都高速道路の現場で培った様々な点検技術（インフラドクター、インフラパトロール、ウェーブドクター等）を紹介します。			
近年、積雪や路面凍結による車両滞留が大きな社会問題となっています。そこで、カーボン繊維を加えた和紙に通电して発熱させるロードヒーティングを開発しました。また、従来材料の半額で低弾性・低収縮なコンクリート床版上面増厚材料（LSF）を開発しました。さらに、既設BPA-A支承を容易に耐震補強する部材を開発しました。加えて、高機能舗装よりも低燃費（CO ₂ 排出量削減）、低LC、低騒音で、水跳ね・ハイドロプレーニング現象抑制機能を有するエコセーフ舗装を開発しました。また、首都高が得意とする分野や独自の技術と、様々な分野の事業者の強みを「共創＝CO-CREATION」することで、より良い社会基盤の実現や新しい価値の創造を目指します。				当法人では、首都高の現場で培ったコア技術である鋼橋疲労対策を始めとする道路構造物の調査診断、スマートインフラマネジメントシステム（i-DREAMs）による道路インフラの Asset マネジメントなどの最先端技術を行っています。本展示会では、現場点検員を対象に開発した、仮想空間で効率的に疲労き裂の発生部位と発生原因を学習可能とした教育システム「点検訓練シミュレーター」を展示し、実際にその場で体験も可能です。その他、当法人にて開発した様々な技術をパネル紹介しています。ぜひ展示会にお越し下さい。				インフラドクターGISと3次元点群データを活用した道路・構造物の維持管理を支援する新時代のシステムです。これにより、インフラの維持管理における点検、補修、設計業務の省力化、高度化、効率化を図ります。インフラパトロール高速道路上を巡回する車両にカメラを設置し、得られたフルハイビジョン画像から、自動で道路の損傷を検出する技術です。併せて、巡回点検業務を補助する機能を有しています。ウェーブドクター道路照明の明るさや電波の電界強度、さらにトンネル内の温度・湿度・路面温度などを高速走行しながら測定します。交通規制を行うことなく、精度の高い測定が可能です。			
日本工営				日本工営都市空間				建設技術研究所			
C-51 日本工営グループはID&Eホールディングスへ				C-51 安全・安心な社会基盤の整備と豊かな生活空間づくりに価値あるサービスを提供し新たな未来を拓いていく。				D-1 安全・安心への、ためめ挑戦			
2023年7月3日、日本工営は新たな名前前のホールディングス会社「ID&Eホールディングス」を立ち上げ、HD制へ移行しました。当社グループは2030年を見据えた中・長期経営戦略において「コンサル」「都市空間」「エネルギー」の3事業分野を主要事業と位置づけ、さらなる成長を目指しています。各事業を分社化し、ID&Eホールディングスの傘下に置く体制とすることで、自律的な運営を推進し、成長とより一層の企業価値向上の実現に努めます。今回は「衛星防災情報サービス」「防災プラットフォーム」「維持管理支援システム」「橋梁AI点検・診断システム」「環境DNA」「3次元空間再現ディスプレイ」を展示・紹介します。				日本工営都市空間は、日本工営の都市空間事業部門と旧玉野総合コンサルタントを事業統合し、一昨年7月よりスタートしております。早二年が経ちまして、昨年の弊社グループ企業へのホールディングス化により、企業として新たなステージへ向かっております。このVUCAな世の中で、地域特有な様々なまちづくりの課題に土木・建築の融合で柔軟に対応できるような弊社及びID&Eホールディングスとともに共存して、努めて参ります。建設技術展2024関東では、3D都市モデルを活用したサービス、都市交通の環境改善、土木・建築の設計施工管理、BIM／CIMおよび3次元での災害リスクの可視化について紹介させていただきます。				人々の暮らしに想いを馳せ、技術の力を発揮することが私たちの使命です。安全なインフラ整備で社会を支え、安心して暮らせるように。道路や橋を人々が行き交い、豊かに発展できるように。自然環境とも調和し、潤いのある生活が広がるように。私たちは日本で最初の建設コンサルタントとして、70年以上にわたってこの想いのもと、歩んできました。そしてこれからも、グローバルインフラソリューショングループとして飛躍することを目指し、高い技術とあふれる英知で、安心して暮らせる明るい社会を創り続けます。			
大成建設グループ				人・夢・技術グループ				ヒロセグループ			
D-2 「持続可能な社会」を創り出すための、インフラの構築から維持管理、解体のあらゆる場面、安全を確保しながら、脱炭素と生産性の向上を図る、最新技術をご紹介します				D-3 インフラサービスのスペシャリスト集団としてグループの技術力を結集し、人が夢を持って暮らせる安心・安全な社会を創造します。				D-4 ヒロセグループ総合力で最適提案			
当社グループは、「持続可能な社会」を創り出すための最新技術として、『作業従事者の安全性と生産性向上に寄与する重機の無人化・自動化技術、トンネル施工の自動化技術』『CO ₂ の排出削減やCO ₂ 収支のマイナスを実現し実用化が進む環境配慮コンクリート『T-Concrete』』『最新のデジタル技術を活用し建設現場の効率化と品質向上を図る「管理・運営システム」『T-Digital Field』、『新たな開発が進む木質材料・建材』、『2次所の次世代研究施設』、『路面太陽光発電舗装』、『バイオアスファルト混合物、樹木の成長促進を目的とした製品』、『舗装や構造物の長寿命化技術』などを紹介します。				人・夢・技術グループは、建設コンサルタント事業や情報システム関連事業等を営む企業グループです。橋梁・道路・交通・鉄道・港湾・河川・地盤・環境・エネルギー・まちづくり・防災・IT／ICTなど、地盤から空まで、人々の暮らしを支えるあらゆるインフラサービスを提供しています。基幹事業の着実な積み重ねに加え、スマートシティや空飛ぶクルマ、IT／ICT、AI活用などの新事業を展開することで、国土強靱化、インフラ長寿命化、少子高齢化、地域創生、そして気候変動といったあらゆる社会課題の解決に貢献しています。展示会当日は、グループ各社のデジタル技術を活用した基幹事業や新しい取り組みを紹介します。				ヒロセグループは「私たちは 鍛えぬいた現場力と信頼される技術で 豊かな暮らしを支え続けよう」を経営理念に掲げる、重仮設事業や補強土事業をはじめ、地下工事やタワー・クレーン事業など、幅広く社会基盤の構築を支える専門工事会社グループです。ヒロセグループでは、グループ各社がそれぞれの分野で培ってきた各種専門工事の現場力と技術力を集結し、その総合力で現場の課題に合わせた最適な提案を行います。「工期短縮」「防災・災害復旧」「IoT支援」の3つのテーマでご紹介します。			
東日本高速道路会社				NEXCO東日本グループ ネクスコ東日本エンジニアリング				NEXCO東日本グループ ネクスコ・メンテナンス関東			
D-5 未来につながるサステナブルな高速道路を目指して、グループ一丸となって取り組んでいます				D-5 24時間365日、日本の大動脈に寄り添うホームドクターとして				D-5 効率的に道路保全する技術を追求する			
日本の高速道路は開通から50年以上が経過し、老朽化が進むとともに総延長は約1万kmに達しています。そのうちNEXCO東日本グループは、東日本地域の高速道路、自動車専用道路の建設と管理・運営等を行っています。公共インフラ事業を担う当グループは、高速道路のプロ集団として「安全・安心・快適・便利な高速道路サービスをお届けすること」を社会的使命としています。NEXCO東日本グループは、社会的使命を着実に果たしながら地域・国・世代を超えた持続可能な社会の実現に向けて、「つなぐ」価値を創造し日本経済の発展に貢献し続けます。				舗装、橋梁、トンネル、そしてスムーズな走行に欠かせない照明や道路情報設備など、安全で快適な長距離・高速走行ができる「いつもの高速道路」をベストな状態で維持するためには、「いつもの技術・ノウハウ」を持ったプロフェッショナルが必要です。こうした中、私たちネクスコ東日本エンジニアリングは、高速道路のいわばホームドクターとして、24時間365日、日本の大動脈に寄り添いながら、培った経験と高度な技術で“高速道路の健康、を守り続けています。				高速道路を利用されるお客さまの安全・快適な高速道路空間を守るために、ネクスコ・メンテナンス関東は、長年の保全業務において蓄積してきた現場のノウハウや取引企業との協働により、作業の効率化・安全性向上の追及だけでなく、作業現場の衛生面や環境負荷低減に配慮した技術開発に取り組んでいます。			
NEXCO東日本グループ ネクスコ東日本インバージョン&コミュニケーションズ				大本組				ショード建設			
D-5 ロードジッパーシステムの活用による、効率的かつ安全なリニューアル工事の実現へ				D-6 ニューマチックケーソン工法による総合治水対策・山岳トンネルにおけるプロジェクトマネジメントの活用・貝殻を利用した生物生息空間の創出と脱炭素社会への貢献				D-7 メンテナンス市場のトップランナーとしての技術開発力			
米国リンゼイ社が開発・製造する「ロードジッパーシステム」の日本国内における販売代理店として、各高速道路会社へロードジッパーシステムの販売・リース事業を通じ、効率的かつ安全な高速道路リニューアル工事の実現を支援しています。ロードジッパーシステムは、車線規制を伴う高速道路本線上の工事において、コンクリート製の防護柵を専用車両にて移動させることにより、交通量に合わせた工事規制範囲や車線数の変更を迅速かつ安全に変更可能。「作業効率の向上」・「工事渋滞の抑制」へ貢献しています。また、1個約680kgのコンクリート製防護柵で車線と工事施工箇所を分離。「工事の安全性向上」にも大きく寄与しています。				ニューマチックケーソン工法は、地下構造物としての信頼性が高く、無人化施工により大深度への適合性が優れた工法です。洪水・浸水の被害を軽減するために、地下空間を利用して地下調節池や地下河川の立坑、浸水対策用の雨水ポンプ所等の建設に採用され、人々の暮らしに安全・安心をもたらす総合治水対策に貢献しています。山岳トンネルにおいて、作業員が目視で行って掘削状況の確認や計測作業を、LiDARで計測した現況と設計面との差分を切りや床掘面にプロジェクションマッピングにより可視化し、安全性の向上や省力化を図ります。貝殻を再利用した人工魚礁による魚類等の生息空間や藻場の創出により、脱炭素社会へ貢献しています。				メンテナンス市場のパイオニアとして66年にわたり、日本全国の様々な社会インフラのメンテナンスに携わってきました。数多くの歴史ある工法から新たな工法まで幅広いラインアップにより、社会インフラを良好な状態で次世代に引き継いでいく当社の技術開発力をご紹介します。			
サンウェル				プレストレスト・コンクリート建設業協会 関東支部				IHIインフラ建設 IHI 検査計測			
D-8 エンジニア人材不足に「この手があった！」と話題～地方・中小の悩み解決をトータルサポート～				D-9 秩序ある国土の開発と、公共の福祉を目指します				D-10 IHIインフラ建設は、社会資本の保全・拡充を通じて安全・安心な暮らしを支えます。IHI 検査計測は、検査・計測・システム技術で社会の安心・安全に貢献します。			
サンウェルはエンジニアの派遣・紹介を軸に人材ソリューションを提供。日本国籍・外国籍エンジニアを年間400人以上派遣し、人気テレビ番組「がっちりマンデー!!」でも紹介され反響を呼んだ。建設をはじめプラント・機械・ITなど幅広い業種に太いパイプを持ち、中小企業のニーズにも積極的に対応。横浜本社をはじめ宇都宮、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡、熊本に支店を展開し、地方企業への対応も万全だ。インドや米国などにも拠点があり、外国籍エンジニアの提案には量・質とも定評がある。外国籍人材には日本生活をきめ細かくサポートし、本人と企業が業務のみに集中できる環境を整えている。人手不足に悩む企業は、ぜひお問い合わせを。				わが国のプレストレストコンクリート（PC）技術は、1952年の事業化以来、種々のコンクリート構造物に採用され、世界的にも高い評価を確立しております。1955年、専業者によりPC工業協会として発足した当協会は、その後一般建設業者の参加も得て、現在会員数33社と、わが国におけるPC工事のほとんどを手がけている業者の団体にまで発展しております。PC建設業界の健全な進歩と発展を図り、それをもって社会インフラの整備拡充および人々の生活を豊かにする開発を究極の目標として、調査・研究と技術の普及に研鑽を積み重ねております。				点検記録作成から報告までのDXを実現する「GBRAIN InsRet」、既存手動水門を簡単に遠隔操作可能にする「水門用簡易電動化装置」、停電時でもバッテリーに蓄電した電力により水門の開閉操作を可能にする「水門版ERBシステム」など水門設備の効率的な維持管理を実現する技術を展示しています。今まで培ってきた多彩な検査計測技術で、社会インフラの維持管理に貢献します。現地での検査計測を行う受託作業と共に、維持管理に必要な機器・装置販売も行っております。特に橋梁点検で発見された問題箇所に関しての詳細調査におきまして、検査計測技術及び機器を提供させて頂きますので、各種ご相談ください。			
中央開発				オリエンタルコンサルタンツホールディングス				バシフィックコンサルタンツ			
D-11 地質調査業のDXを目指す「弊社の地質DX」の取り組み 昨今激甚化する災害に対する防災技術の進展				D-12 DX技術を活用したインフラの調査・測量・設計・維持管理システム等に関するオリエンタルコンサルタンツホールディングスの各グループ会社の取り組みをご紹介します。				D-13 インフラDXの推進 ～インフラ管理へのAI活用や頻発化する自然災害へ対応～ ■空間創造 ■道路インフラDX ■防災情報 ■都市最適化			
地質調査業こそDXが必要です。地質DXにより、陸域・水域の調査を刷新し、新たな手法で地形図を作成して解釈の高度化を実現します。地盤調査・地盤解析・新技術DXを強みに、地質調査業の生産性向上を図っていきます。われわれは地質調査業のDXに力点を置きつつ、更には設計・施工・維持管理へのデータの橋渡しを行っています。昨夏の水災害・土砂災害の激甚化に備えて、各種モニタリングシステムを設置し、防災に動きかかっています。土中の傾斜・微動・振動・比抵抗の計測により、地盤構造や自然斜面をモニタリングする技術は、弊社独自開発した技術です。今後も土と水に関する技術を武器に日本の防災の発展に貢献していきます。				・アサノ大成基礎エンジニアリング：センシング技術、広域3次元浸透流解析、MR技術など ・エイトック：水面ドローン点検、水管橋点検ガードローン点検、バックパッケレーザ、3D都市モデルなど ・オリエンタルコンサルタンツ：スマート防災、猛禽類の画像&音声解析技術、SOCC Aなど ・リサーチ アンド ソリューション：災害版SOCC Aなど				4つのソリューションを展示します。 1. 空間創造：UAVおよびAIを活用したインフラ管理・防災等の社会課題に対するソリューションを提案します。 2. 道路インフラDX：スマホを活用した道路巡回支援システム、トンネルの変状図・観票管理システム、AIツール、インフラ維持管理システムで道路インフラDXを実現します。 3. 防災情報：河川管理者等のための防災業務支援システム、災害リスク診断のしらべル、土砂災害の危険度判定のどしやブル、emaxianなどで防災を支援します。 4. 都市最適化：インバウンドに対応した人流ビッグデータ、自動運転など幅広いモビリティに対する運行管理、不動産DXなどの都市最適化に向けたサービスを提供します。			

C-Xross 2024 Construction Xross 2024			集まれ！未来の創造者たち。		
NTジオテックス D-14 「点群計測および活用」をテーマに地上型3DレーザースキャナやLiDAR SLAM、SfMなどを展示します。 測量機器の分野は時代と共に技術革新が加速しており、特に土木、建築、設備維持管理の分野においては業務効率化のニーズがますます高まって来ていることで、D・X・自動化・システム化・高精度な製品が望まれております。 今回の展示会では点群計測とその活用にテーマを絞り、近年特に需要が高まっております地上型3DレーザースキャナやLiDAR SLAM、SfMに関する製品をご紹介します予定です。 弊社は株式会社ニコン・トリプル専門販社として、3D計測、BIM/CIM、インフラメンテナンス等の業務に対応すべく、時代のニーズに合ったソリューションのご提案からアフターフォローまでをメーカーに代わって一貫して行うことにより、お客様にご満足いただける企業を目指してまいります。			タグチ工業 D-15 ベルトコンベヤシステムやリフト設備など高い安全性と環境に配慮した独自製品を紹介 ジオラマで当社製品を再現し、導入イメージを持っていただけます 今回の展示会では、これまで当社が培ってきた技術に、革新的なアイデアを融合させた新製品を中心に展示いたします。当社では1,000m以下のトンネルでも導入することができ る連続ベルトコンベヤシステム「S・C・B・C (Short Continuous Belt Conveyor)」や、100 tもの重量物を積載することができる資材運搬設備「インクライン」・「ガイドワイヤーリフト」など、安全性が高く、環境に配慮した製品を取り扱っております。 ブース内に当社の設備を再現したジオラマを展示しているため、実際の現場をイメージしていただける内容となっております。 ぜひブースにお越しいただき、当社製品をご確認ください。		
日本鋼構造物循環式プラスト技術協会 D-17 私たちは、循環式プラスト＋ショットピーニングで予防保全型メンテナンスを推進します 日本の経済発展を支えてきたインフラが老朽化により急速に損傷し始めています。私たちは鋼製橋梁の長寿命化に効果的で、なおかつ環境性と経済性に優れた工法を開発しました。 産業廃棄物と粉じんの発生を最小限に抑制した「循環式プラスト工法（建設技術審査証明取得技術 建築第2201号）」で鋼製橋梁の腐食を予防！さらにそのプラスト機材を有効活用し、既設橋梁でのショットピーニングを可能にした「循環式ショットピーニング工法（国内特許第6304901号／第6501718号、米国特許 U・S・11959148 B2）」で疲労き裂も予防！ふたつの工法で予防保全型メンテナンスを推進します。			五洋建設 D-18 2種類のドローンで海上工事の働きやすさUP！－五洋建設のドローン活用－ 五洋建設は、1896年に創業した臨海部と海外に強みを持つ会社で、国内外問わず、様々なプロジェクトに貢献しています。 C-Xross2024では海上工事で活躍する2種類のドローンを紹介します。①POV-DAは離着水ならびに海上航行が可能な海洋観測ドローンです。水深測量機能と波浪観測機能を有し、水中作業の進捗や土量投入量の過不足の把握のほか、作業前に現地の波浪を観測して迅速な施工可否判断を行うことができます。②POV-DLによるリアルタイム船舶土量検収システムは、3D-LiDARで5秒間船舶倉内を計測すると、積載土量を直ちに算出・表示し、帳票まで自動作成する技術で、土量検収にかかる時間および人員の削減を可能にします。		
加藤建設 D-20 都市を極める 近年、都市部における地下空間の利用はめざましいものがあります。 さらに、都市部であるが故、工期・施工ヤード・周辺環境などの厳しい施工環境への対応が要求されています。 加藤建設では、そのような様々な施工環境を配慮し、周辺環境への影響が少なく、制限のある施工ヤードや上空制限にも対応できる圧入技術を数多く保有しています。 加藤建設は圧入ケーソンのパイオニアとして、都市開発を積極的に進めています。			前田建設 D-21 さまざまな社会課題に対する解決策と価値を提供する、新たな建設サービスモデル「総合インフラサービス企業」としての取組み 前田建設工業は、1919年に福井で創業し山岳土木、都市土木、建築、海外事業そしてインフラ運営へと事業を拡大し、2021年には共同持株会社「インフリア・ホールディングス」を設立。創業以来受け継がれるチャレンジ精神とグループ各社が持つ専門性・強みを活かし、時代とともに変化する社会・お客様の様々なニーズに対応しながら、企画提案から運営・維持管理までワンストップのマネジメント実現を目指す「総合インフラサービス企業」として、技術開発・新規事業にも取り組みんでいます。今回は、高速道路リニューアルやトンネル覆工、建機自動化に加えP・F・O・S・P・F・A・S対策技術等の取組みをご紹介しますので、当社展示ブースにぜひお立ち寄りください。		
建設業振興基金 D-23 建設キャリアアップシステム C C U S 建設キャリアアップシステム（以下CCUSという）は、建設技能者の適正な評価と処遇改善、また優秀な技能者を育てる企業が評価され受注機会が確保される環境整備などを目的に、国と業界が一体となって推進している建設産業共通のインフラです。技能者が就業履歴を蓄積し、保有する資格をカードに登録することで、経験や資格に応じた能力を4段階で評価します。登録は技能者150万人、事業者27万社と全国に広がっています。CCUSを活用した国や地方公共団体等のモデル工事、建退共との連携など官民一体となった取り組みの推進やCCUS利用拡大に向けたメリットの拡充をより一層進めて参ります。			シバタ工業 D-24 土砂・流木対策 土砂捕捉スクリーン&流木スクリーン 道路の地震防災対策 PRF緩衝ビン&RNジョイント 土砂・流木対策 「土砂捕捉スクリーン」は中長期的な細粒土砂の流出による災害を防止すること、かつ簡易に設置可能な新しい砂防施設として建設技術研究所とシバタ工業が共同で開発しました。特に山地部に近い遊樂住宅地や山地で未治水路が十分でない集落等において、豪雨災害後の土砂による氾濫被害を防止・軽減いたします。 道路の地震防災対策 兵庫県南部地震では、高速道路等の高架橋において、橋桁のずれ、落下の被害があり、橋桁の連結材と鋼製ビーン間に衝撃力が発生し、連結板が吸損した事例があります。そこで、弊社では、緩衝効果を持つアンカーバー構造として鋼棒に緩衝材（PRF構造）を設けた「線型緩衝ビン」を開発し広く展開してきました。さらに「PRF緩衝ビン」は鋼棒と緩衝部を脱着可能とし、従来の性能を有しながら、施工性や維持管理を容易とする特長をプラスした新たな構造としてご提案いたします。		
戸田建設 D-26 「Build the Culture. 人がつくる。人のでつくる。」のスローガンのもと、人に寄りそう新技術開発に挑戦 戸田建設は1881年（明治14年）の創業以来、暮らしに寄りそう建物やインフラなどの土木・建築の様々な施工に携わってきました。2022年には、新たなブランドスローガン「Build the Culture. 人がつくる。人のでつくる。」を策定し、これまで以上に「人」に配慮した企業姿勢を大切に参ります。本展示会では最新の開発技術として、山岳トンネルにおける覆工コンクリート自動打設技術や発破作業の安全性・効率性を向上させる爆薬、トンネル坑内を自動巡回し監視するドローン、道路橋の老朽化に伴う床版取替技術、非開削で大断面を構築する技術、地盤改良効果の見える化技術など多数ご紹介します。			三井住友建設 D-27 省人化、効率化を目指したD・Xによる出来形計測および施工管理システム、 鉄筋自動組立てロボット技術およびトンネルの急速更新技術について、当社で開発した技術を紹介します。 公表された「i-Construction2.0」の取組み方針を踏まえ、当社も建設現場の省人化および生産性向上に向けた取組みを実施しています。具体的展示技術として、省人化技術の「ロックボルト計画管理システム」、A1を搭載してリニューアルした新鉄筋出来形検査システム「ラクカメラ」があり、いずれも外販しています。 コンクリート分野では、管理が曖昧だったコンクリート細目め設備の見える化技術「ARコンクリート細目め管理システム」も展示しています。併せて、鉄筋自動組立てロボット「ロボタスⅡ」は主にプレキャスト工場での生産性向上に寄与、トンネルの「クイックreインポート」は供用しながらのトンネル急速更新技術で、ともに実績のある技術です。		
エスイー D-29 エスイーでは、国内外のインフラ整備を支えるため、様々な製品を開発・製造・販売しています。 エスイーは、地すべりを防ぐ「アンカー」や道路・橋梁の落下を防ぐ「落橋防止装置」などのケーブル製品を中心とした建設用資材材をはじめ、建築用資材、建設コンサルタント、橋梁構造物・トンネル等の補修・補強工事をグループとして提供しています。			西松建設 D-30 150th Anniversary 「価値ある建造物とサービスで 安心して暮らせる持続可能な社会をつくる」 西松建設は明治7年の創業以来、150年にわたる長い歴史と伝統によって培われた高度な技術力を強みに、道路やダム等公共施設の建設や都市再開発など、安全・安心な社会基盤整備や快適な環境づくりに広く貢献してまいりました。この長い歴史の中で培ったモノづくりの精神は、今も脈々と受け継がれております。 私たちはこれからも、価値ある建造物とサービスを社会に提供することで、安心して暮らせる持続可能な社会・環境づくりに貢献してまいります。 今回の展示では、建設D・Xである「Tunnel-Rover」、「空撮映像を用いたMR施工支援システム」、「ばっと看板ナビ」を紹介します。		
J F E グループ D-32 ①J F E－SCRUMを通じ、国土強靱化に貢献するJ F E Grの商品・工法を御説明 ②2050年カーボンニュートラル社会実現に向け、J F Eの環境分野への取組みを御説明 J F Eグループは、今回上記2テーマを意識した展示を実施致します。 ①J F E－SCRUMサイトに掲載をしております国土強靱化に貢献する商品・工法の御説明を3つの画面を連動させる形で、商品概要とその特徴並びに、街での採用イメージ例を各商品1分程度で映写して参ります。「耐震防災」「省力化・工期短縮」「省スペース」「意匠性」の4つの切り口で商品を選定し、8社でのべ74商品・工法を御紹介致します。 ②環境分野の展示では、「J F Eの環境への取組み」「J-GreeX マスバランス方式を採用したグリーン鋼材」「アーキテクト木鉄ハイブリッド鋼材」「スラグ商品を通じた環境対応」について御紹介致します。是非J F Eグループブースにお運び下さい。			中央復建コンサルタンツ D-31 D・Xによる安全で安心、かつ快適な技術サービス 社会インフラは、「安全」で「安心」な暮らしを守る使命があり、社会経済活動を支える道路や鉄道などにおける「快適性」も保持し続ける必要があります。 中央復建コンサルタンツでは、D・Xにより社会インフラに係る技術サービスの高度化や高品質化を図っており、「安全」×「D・X」、「安心」×「D・X」、「快適」×「D・X」についてご紹介いたします。 ・交通監視システムを盛り込んだ道路修繕計画 ・3次元視点による巨石の落石対策工設計 ・GISを用いた災害データベースシステム ・遠隔現場による健全度判定の高度化と統一化		
エムオーテック D-34 環境、施工性に優れた都市型タワークレーン基礎杭！ ◆環境に優しいNSエコパイルタワークレーン杭（無排土、産廃ゼロ、引抜・撤去可） 組立容易なコンパクト杭打機で、ゴムキャピラーのため自走搬入が可能。根固液未使用のためプラント設備が不要、狭小な現場でも施工OK。杭が残置できない場合、逆回転による引抜可。低振動・低騒音施工、無排土による工事車両削減化、水質汚染が全く環境に優しい工法です。 ◆パネル式防護欄 法面で発生する落石から、道路・交通の安全を確保する仮設防護欄。従来工法に比べ施工性が大幅に向上し、工期の短縮が可能。溶接作業が不要で、設置に特殊な技術を必要としません。パネルと支柱の連結性が高いため、衝撃に強く安全性が確保されています。			Soft Bank D-36 建設車両のデジタル管理・手配サービス 発生土運搬に特化した建設車両のデジタル管理・手配サービスをご紹介します。小型GPS端末を車載することにより、車両位置情報を管理・ビジュアル化し、効率的な運搬をサポートいたします。実際にご利用いただく現場関係者目線で開発を行い、簡易に導入・運用ができる点が特徴となっております。ソフトバンクは、本サービスをはじめ、各種事業において建設業界の生産性向上に寄与します。		
東京建設コンサルタント D-35 先人たちが築き上げてきた歴史や風土を真摯に学び、そして知恵や技術を確実に受け継ぎ、常に時代の先端に立ち、高度な技術サービスを通じて、社会資本整備に貢献してゆく。 ①「樋門・樋管河川施設観測操作員向け情報共有システム」：スマートフォンを活用し、河川施設情報の一元化、管理業務の高度化、効率化を図るシステム ②「治水評価指標可視化ビューア」:「流域治水デジタルテストベッド」を活用した水害ハザードや暴露、貯留機能等に関する評価指標を可視化するビューア ③「道路・河川・トンネルの3次元映像の共有とパノラム日誌作成支援を行う他、エッジAI処理による落石物検知や、舗装のひび割れ検出を行うシステム ④「IoTクラウドサービス わかるくみ」:水文・水質・気象等の観測データをリアルタイムに収集し、クラウドにより遠隔でもPC・スマホ・タブレット等で確認・共有が可能となるIoTサービス			鹿島道路 D-37 全天候型補修材（カジマクールミックスアクア）・指向性スピーカー 全天候型補修材（カジマクールミックスアクア）や指向性スピーカーなど幅広く展示をします。説明員がサンプルや動画をを使って説明しますので、ぜひお立ち寄りください。学生さんも大歓迎です！ 出展製品 ■全天候型緊急緊急補修材「カジマクールミックスアクア」 水を含み、転圧して使用する常温の補修材です。水で固まるため雨天時にも穴埋め等の補修ができ、強度発現が早く転圧後の即時交通開放が可能であるため、規制時間の短縮が期待できます。 ■指向性スピーカー 自ら開発したこれまでにない騒音システムです。音を周囲に拡散させずに警告音を発する事ができます。警告対象のみに音を伝えることが可能なため、周囲への騒音低減と安全性向上を両立します。		
大日本土木 D-38 コテブリーコンクリート上面を精度よく仕上げるシステム－ 本技術は、コンクリート打設時の仕上げ高さを自動追尾トータルステーションとスマートグラスにより、作業員が直接確認及び調整できるシステムです。 360°プリズムをコテまたはトンポに設置し、自動追尾トータルステーションで計測することにより、リアルタイムで高さ計測をします。 計測端末やスマートグラスで設計値との差分を見ながら作業することで、リアルタイムに設計値との差が数値で分かるため、品質及び施工性が向上します。			日本建設情報総合センター D-39 建設行政・現場のD・Xの取組みを支援しています 日本建設情報総合センター（JACIC）では、コリンズ・テクリス、積算システム、入札情報サービス（PPI）、電子入札コアシステムなど、公共調達に対応したシステムやデータを提供しています。建設副産物・発生土情報交換システムは、2025年5月に「コピラス・プラス」として全面的にリニューアルする予定です。 また、現場の作業を効率化するJACICルームなどの情報システムの提供、D・Xの推進のための調査研究等も行っています。 JACICルームは、インターネットを介して、登録されたメンバーで情報を共有できるサービスで、データ、画像・映像など様々な情報を一元化し、情報の可視化、業務マネジメントの効率化を支援します。		
鉄建建設 D-41 “「誇れる企業へ」～サステナブルな未来社会の挑戦～。 当社の強みを活かした道路・鉄道分野の技術を展示します。 鉄建建設は1944年に鉄道建設専門の国策会社として創立されました。鉄道網拡大に伴うトンネル、高架橋や駅等の建設を手掛ける技術として、条件の厳しい峡谷箇所に対応する技術開発を行ってきました。また近年需要が高いた交通インフラの長寿命化への取組として、耐震補強やリニューアル工事にも多く携わっています。 当社の強みである危険箇所での技術・近年の取組と以下にの保有技術をご紹介します。 ◇アンダーパス技術・HEP・JES工法、COMPASS工法 ◇場所打ち杭技術…超低空頭場所打ち杭工法、Shimso-MaNI工法 ◇PT・ICT技術・配筋システム、打設管理システム、流動解析技術、トンネルICT ◇橋梁技術…STUクリアシート			セフテック D-42 北海道から沖縄まで全国に広がる営業所ネットワークを生かした柔軟かつスピーディな対応で、土木・建築工事の安全・安心と環境負荷低減に貢献します。 当社は、環境にやさしい総合安全企業として「良質な機材および優れたシステムを廉価で提供すること」「創意工夫を啓発して、環境にやさしい商品・安全に効果的なシステムを積極的に企業開発すること」の二点を経営方針として掲げております。お客様のニーズに対応するため、全国主要地域に営業拠点を設けて、地域密着型の直販を展開しており、最近では、AIによる車と人の判別が可能なカメラ「A1カメラ」の提供を行っており、今後は時代にあった商品を、時代に合った技術で提供し続けることを大切に、セフテックは今後も工事現場の安全・効率を高めるとともに、より環境にやさしい技術・商品の提供に挑戦し続けます。		
鴻池組 D-16 『まじめに、まっすぐ鴻池組』 国土強靱化・長寿命化・CO₂削減に寄与する建設技術について 建設業界では、不足する労働力や衰退する技術力を補うために生産性向上・省力化工法を導入することや、持続可能な社会の構築のために環境に配慮した材料を開発することが不可欠となっています。今回は、老朽化したトンネルにおいて、安全かつ高速に覆工表面を切除除去し覆工コンクリートを再構築する『Reライニング工法』、大深度地下構造物を高精度、低コストかつ安全に構築する『自動化オープンケーソン（SOC S）工法』、生コンの運行状況やコンクリート打設状況をリアルタイムに見える化する車両運行管理システム『MANANDAI』、排ガス由来のCO₂を回収・固定化し結晶化したCCU材料『Kcal（ケイカル）』など、鴻池組の建設技術の取組みについてご紹介いたします。			日本インシーク D-19 「ICT測量」のチカラで「スマート」にD・Xを実現 変化する社会潮流に追従し、持続可能性を高める方策として、D・X（デジタル・トランスフォーメーション）の必要性が高まっています。D・X推進の成否は、関係者全員の意識と行動がスムーズに変容できるかがカギとなってきます。ウェアラブルデバイス「V・L・X」は、SLAM技術を使った点群計測システムで、GNSS信号の入らない屋内や森林でも計測が可能です。「V・L・X」で取得した点群データをもとに、「体験」から「D・X」を始めめることで、関係者全員が当事者意識をもってスマートに推進することが可能になります。		
森環境技術研究所 D-22 高含水泥土改良剤MTシリーズ 港湾液漂土・河川掘削土・ため地堆積土・シールド汚泥・杭汚泥など、建設現場から発生する泥を短時間で改良し、即時運搬することが可能です。 これまで建設現場で泥が発生した際には、バキューム車による吸引、天日乾燥、セメントや石灰による固化等が用いられてきましたが、固化時間やコストがかかることが問題でした。この問題を解決するため「いかに短時間で安価に泥を搬出させるか」というコンセプトで開発したのが、高含水泥土改良剤MTシリーズです。 1～8㎥/分程度の少ない添加量で改良が可能で、所要時間は15分程度です。バックホウとビットを用意し、泥と本製品を混ぜただけで特別な工程はありません。製品自体が中性で腐蝕や癌生にも影響がなく、土壌環境基準全項目をクリアしている安全な製品です。 当日はブースにて実演を行いますので、ぜひお立ち寄りください。			東光電気工事 D-25 完成間近の風力発電建設用タワークレーン【JCW1250】のご紹介 東光電気工事は2020年に日本初の風力発電建設用タワークレーンJCW1800Kを導入し、これまで25基の建設を行ってきました。 今回の展示ではまもなく完成となる新型クレーン【JCW1250】をはじめ、厳しい条件下でもスムーズに作業を進行させるために独自開発した鉄塔建設用クレーンを含む自社所有の重機など、これまで陸上、洋上含めて400基の建設実績のある東光電気工事の技術を中心にご紹介いたします。		
日本製鉄グループ D-28 日本製鉄グループ（日本製鉄、日鉄エンジニアリング、日鉄ケミカル&マテリアル、日鉄ステンレス、日鉄建材グループ、ジオスター、日鉄テクノロジー） 日本製鉄は、日本で最大手、世界でもトップクラスの鉄鋼メーカーであり、日本国内および世界15か国以上に製造拠点を展開。日本製鉄グループは、製鉄事業を中核に、エンジニアリング事業、ケミカル&マテリアル事業、システムソリューション事業の4つの分野を推進。「国内製鉄事業の再構築とグループ経営の強化」、「海外事業の進化、拡充に向けたグローバル戦略の推進」、「カーボンニュートラルへの挑戦」、「デジタルトランスフォーメーション戦略の推進」を経営計画の4つの柱としています。「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」を目指し、世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。			エムオーテック D-34 環境、施工性に優れた都市型タワークレーン基礎杭！ ◆環境に優しいNSエコパイルタワークレーン杭（無排土、産廃ゼロ、引抜・撤去可） 組立容易なコンパクト杭打機で、ゴムキャピラーのため自走搬入が可能。根固液未使用のためプラント設備が不要、狭小な現場でも施工OK。杭が残置できない場合、逆回転による引抜可。低振動・低騒音施工、無排土による工事車両削減化、水質汚染が全く環境に優しい工法です。 ◆パネル式防護欄 法面で発生する落石から、道路・交通の安全を確保する仮設防護欄。従来工法に比べ施工性が大幅に向上し、工期の短縮が可能。溶接作業が不要で、設置に特殊な技術を必要としません。パネルと支柱の連結性が高いため、衝撃に強く安全性が確保されています。		
Soft Bank D-36 建設車両のデジタル管理・手配サービス 発生土運搬に特化した建設車両のデジタル管理・手配サービスをご紹介します。小型GPS端末を車載することにより、車両位置情報を管理・ビジュアル化し、効率的な運搬をサポートいたします。実際にご利用いただく現場関係者目線で開発を行い、簡易に導入・運用ができる点が特徴となっております。ソフトバンクは、本サービスをはじめ、各種事業において建設業界の生産性向上に寄与します。			三国屋建設 D-40 「100隻の作業船と海の職人集団」 関東・東北の各地に事業所を置き、100隻を超える社有船舶と30余名の社内潜水士を始めとする機動力と技術力をもとに、全ての社員が『海の職人』となることを目指しております。全国津々浦々の水上、水中において『海を造る』匠の会社として、また、不慮の災害時には『海を守る』力強い防災会社として、地域に、更には、社会に貢献できるよう努めています。また、昨今においては、オリジナル工法を用いて困難な場所や環境においても安全な作業を提供しております。		
L is B D-43 現場チャット「direct／ダイレクト」、撮影するだけでクラウドに自動分類＆保存ができる「タグショット／タグアルバム」、現場ノウハウを動画でかんたん共有「ナレッジ動画」 L is Bのブースでは、現場向けの業務効率化ツールをご紹介します。建設やインフラなど5,500社超の企業が導入しているビジネスチャット「direct／ダイレクト」は、ツール単体の操作性や協力会社と安全につながるセキュリティ機能に加え、クスクやスケジュールの管理も可能です。さらに、撮影するだけでクラウド上で写真が自動共有され、タグや電子小票板での自動分類も可能なツール「タグショット／タグアルバム」、現場のナレッジ（知識）やノウハウ（技術）を動画で共有できる企業向け技術継承ソリューション「ナレッジ動画」など、様々なツールをご用意しています。活用事例も数多く用意していますので、弊社ブースへお気軽にお立ち寄りください。					

第3種郵便物認可			日 刊 建 設 工 業 新 聞			2024年（令和6年）11月7日（木曜日）			（10）		
集まれ！未来の創造者たち。											
片平新日本技研						丸藤シートパイル					
D-44						D-45					
当社は「道路・橋梁・交通都市計画。など交通インフラを専門とする技術者集団です。 「交通インフラ総合コンサルタント」として課題と技術をマッチングします！						創業1926年 重仮設リースのバイオニア企業 信頼の技術で設計・加工・施工をトータルサポート					
「建設DX」の役割は、業界における課題解決の他に、「発注者や社会に喜んでもらうにはどうすべきか」に応えるための、思想表現の側面があります。 コンサルタント会社として「ニーズに応えること」を大切にし、そのための技術思想をどう表現するか。ツールに溺れることなく、「コスト」「スピード」「出来映え」のバランスをとりながら、日々、試行錯誤を続けています。 今回は、VR技術を活用して、「教育のための構造物点検シミュレーション」、「PLATEAUや点群を利用した地域空間再現VR」などのプレゼンテーションを行います。 是非、ブースにお立ち寄りいただき、試行錯誤の一端をご覧ください。						○RG工法 驚異的な貫入力を誇る、油圧可変式超高周波パイプロ杭打機を使用した新工法。セメントミルク・削削残土処分不要。工期短縮、コスト低減を実現。 ○Hyper栈橋 H700～900桁に代わる新世代型仮栈橋桁。支持杭間隔10m～12mの中支間において、『早い（75日～）・安い（79千円/㎡～）・丁度良い』を実現。 ○MI-craft 重仮設業に特化したBIMシステム。製図作業を効率化し、経験に依存することの無く高精度のモデル作成が可能。					
日本基礎技術						丸紅建材リース					
D-47						D-48					
建設基礎の特殊分野で活躍する【日本基礎技術】 「社会に信頼され、貢献できる会社」を目指してまいります。						【マルケンタフシリーズ】・【圧入式パイプロ併用杭打機（JPM）】で 都市建設の地下空間施工に貢献します!!					
建設現場のオートメーション化に向けて、i-Construction2.0に取り組んでいます。 業界初、自社開発のロボット自動化施工で、人的作業の軽減・安全性向上の実現を図ります。 二重管自動削孔機 A-RPD グラウンドアンカー工・薬液注入工など 小口径自動削孔機 ABM-10 ダムグラウチング工・薬液注入工など						現場のニーズに応え、工期短縮・安全性・品質向上・省力化・環境負荷軽減を実現する『マルケンタフシリーズ』と『圧入式パイプロ併用杭打機JPM』をご紹介します。 タフ4とタフ7を組み合わせたハイブリッド工法で、切梁スパンの拡大や中間杭の減少により広い地下作業空間を創出できます。 タフデッキ1×4・1×5は桁スパンを拡大し、作業効率を大幅に向上します。 『JPM』は圧入力410kNと高周波パイプロで、無排土を迅速かつ安全に施工可能です。 ぜひ当社ブースへお立ち寄りください。					
J R 東日本コンサルタンツ						サンコーコンサルタント					
D-50						D-51					
鉄道で培った「技術」と「情報」を最大限に活かし、持続可能な社会の創造を目指して						長い歴史で培われた技術を新しい時代の技術へ紡ぐ`サンコーDX`。 ～総合建設コンサルタント「サンコーコンサルタント」から未来の社会に向けた提案～					
JR東日本コンサルタンツは、1989年の設立以来、鉄道を基軸とした総合技術コンサルタンツとして調査・計画、土木設計、メンテナンス・防災計画、技術開発、施工管理・積算、ICT事業等、様々な取組みを行っています。 展示会では、土木設計とメンテナンスにフォーカスした弊社技術の一部を展示いたします。「鉄道交差部の新設・改良設計」「BIM/CIM設計」「3次元骨組み解析ソフトウェア【isas】」「跨線橋の長寿命化」「小型ドローンを用いた土木構造物調査」「常時微動による下部工モニタリング」「メットフォン」						サンコーコンサルタントの創業は我が国の建設コンサルタント草創期の1961年。その歴史ある技術で、あらゆる場面でコンサルティングを展開してきました。2004年にスルターマンが「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」と提唱し、DX（Digital Transformation）という言葉が生まれました。当社は新たな時代の幕開けを敏感に察知し、「サンコーDX」の名のもとに新技術の活用と開発に注力してきました。創業から63年。DXの幕開けから20年。歴史と未来を新技術で繋げること。これが当社の使命です。今回は数あるサンコーDXメニューから、「クマアラート」、「地盤技術アシスト」、「点検メタース」の3つのシステムを紹介します。					
キャドセンター						古河産機システムズ					
D-53						D-54					
建築バイジュライゼーションでより良い世界を創造します！ 3D都市モデルの活用やデジタルツwinの構築を通じて社会課題の解決に挑み続けます。						密閉式吊下げ型コンベヤ「SICON」のベルトカットサンプル及び パネのように伸び縮み、折畳み可能な進化型SICON模型					
キャドセンターは、3DCG技術をベースにした映像、静止画、インタラクティブコンテンツ、VRコンテンツ、シミュレーション制作関連のビジュライゼーション環境の構築・提供を行っています。また、全国の都市・港湾3Dモデル上への各種データ可視化による都市DXの企画・コンテンツ制作も行っております。建設技術展2024関東では、都市のデジタルツwin構築における浸水シミュレーション、3D都市モデル「REAL3DMAシリーズ」を活用した都市バイジュライゼーションなどをご紹介いたします。建設技術プラットフォーム3DCGをご体験できるコンテンツをご用意しておりますので、ぜひご来場ください。						密閉式吊下げ型コンベヤ「SICON」は半径1mにて90°ターンや180°Uターンが可能となる、乗継部が不要となります。現物1mのカットサンプルを用意しましたので、吊下げ部詳細構造、張力を負担するワイヤー断面を見ることが出来ます。またベルトを袋状として搬送物を密閉するた通常コンベヤの登坂角度15°を30°程度まで大きく向上させることができます。このSICON技術を更に応用、進化させるため3つの次世代SICON模型を製作し展示させていただきます。模型を見ていただきながら、新たな用途や方向性を見出し社会に寄与できればと思いますので是非、ブースにお立ち寄りをお願いいたします。					
りんかい日産建設						野原グループ					
D-56						D-57					
港湾工事における水中部を可視化し、定量的かつリアルタイムに測る 「水中測距システム-PONTOS-」を展示						建設現場を誰でも簡単にバーチャル化！ 最先端の建設DXソリューション「Matterport」で、設計・施工プロセスを効率化					
港湾工事における水中部を可視化し、定量的かつリアルタイムに測る「水中測距システム-PONTOS-」の実物を展示いたします。 今回は、本システムの「見る。」「測る。」「捉える。の3つの機能を実物や動画にて紹介させていただくとともに、本システムに新たに追加した「水中部の可視化技術」も展示いたします。 その他、弊社保有技術の「杭の短尺化を実現する「テーパー杭」」や、「水中部の施工状況を可視化する「3D水中施工管理システム」」の紹介もいたします。 ぜひ弊社ブースにお越しください。						Matterportは、建設現場を簡単に3D化できる最先端技術です。 現場のあらゆる部分をスキャンし、高精度な3Dモデルを生成することで、関係者全員がリモートで現場状況を確認できます。 これにより、遠隔地からの意思決定が迅速に行え、設計変更や進捗状況の確認もスムーズに。 現場訪問の手間を削減し、プロジェクト管理を効率化します。 Matterportの3D化技術は、建設現場の可視性と生産性を飛躍的に向上させます。					
地盤凍結工法協会／精研						ホロラボ					
D-59						D-60					
地盤凍結工法、及び人工凍土の利用方法						・BIMを中心にしたデジタルトランスフォーメーションの取組みをご紹介 ・BIM、PowerBI、Web、Cloud、Unreal Engine、生成AI					
地盤凍結工法は、地盤中に所定の間隔でパイプ（凍結管）を埋設し、凍結管内に冷凍機で冷却したブラインを循環させることにより周囲の間隙水を年輪状に凍結させ耐力あるいは止水壁を作る地盤改良工法です。 地盤中に凍結管を設置できれば、土質、深度、方向、支障物に関係なく地盤改良が可能です。 地盤凍結工法専用アンモニア冷凍機では、自然冷媒を使用することにより地球温暖化対策へ寄与しています。高い能力とCOP（エネルギー消費効率）を保有し、省エネ効果が高く、環境に優れた冷凍機となります。 また、地盤凍結工法専門の技術職員が現場に常駐することにより、安全で確実な凍土の維持管理が可能です。						ホロラボは「フィジカルとデジタルをつなげ、新たな世界を創造する」をミッションに掲げています。私たちはAR/VRなどのXR技術やBIM/フォトグラメトリなど空間データを扱うことに長けたテクノロジー集団です。本展示会では、BIMとBTツールを組み合わせる必要なデータをリアルタイムで簡単に検索できる「R2-BIM」や「建物みえるくん」に加えて、生成AIを活用してBIMに加えて社内外の情報や文書を調べられる「C3-BIM」や「仕事でみるくん」などを展示します。BIMをどう活用すればよいのかわからない、デジタルトランスフォーメーションの他社事例を知りたいなどのご相談お待ちしております。					
シーティーエス						和建					
D-62						D-63					
現場業務の進め方を変え、人材不足・2024年問題を解決する現場業務支援パッケージ 「サイトアシストパッケージ」を出展						「工事現場への思いやり」和建からの新しい提案です。 土木仮設資材の賃貸業でトップクラスの実績・質・在庫量を誇る当社。幾多ある商品ラインナップの中で今回は送電線関連工事に使用できる敷物商品に特化した展示を行っています。 新商品である送電線関連工事に最適な「Wマット」、軟弱地盤で使用できる「グリップロードマット」、滑り止め付敷鉄板「すべらん君」など、お客様の意見を取り入れ商品化した多数の商品のサンプル・ジオラマなどを展示。 お立ち寄り頂いた皆様に新しいご提案をさせていただきます。 ノベルティもご用意しておりますのでお気軽にお立ち寄りくださいませ。					
応用地質						リフリース工業会					
D-65						D-66					
◆グラウンドアンカー残存緊張力の振動方式測定システム「VIBRES」◆表層傾斜計「クリノボール」 「クリノボールNEO」◆地盤4次元モニタリング「OYO Tracker 4D」						積み重ねた経験と採用実績を活かし「インフラ長寿命化」に挑戦し続けます。 中性化や塩害などを要因として劣化する鉄筋コンクリート構造物。これらの補修・改修・予防保全を目的として1973年に開発された「リフリース工法」は、1976年の第一号物件（東京都庁第2庁舎改修工事）採用を皮切りに、全国で約2万件を超える実績を誇ります。同工法の責任施工を目的として1981年に設立された「リフリース工業会」は、補修・改修施工のバイオニアとして、優れた素材と施工技術を40年以上にわたって提供し続けており、現在も新たな技術開発にも取り組んでいます。リフリース工業会は、全国（8支部）で展開しており、約300社の専門施工会社が優れた技術力と責任をもって、大切なインフラを未来につないでいます。					
◆VIBRES：グラウンドアンカー緊張力測定に振動を用いることで、点検の効率化と安全性の向上を図る新技術。中日本バイウェイ・エンジニアリング名古屋と国立大学法人東海国立大学機構岐阜大、応用地質3社の共同開発。システムの実証と普及を図るため「VIBRESコンソーシアム」を設立し参加17社で事業を開始。本展示は「VIBRESコンソーシアム」による。 ◆クリノボール・クリノボールNEO：法面等の面的監視を目的に開発した表層傾斜計。クリノボールNEOは、西日本高速道路エンジニアリング中国と応用地質の共同開発。 ◆OYO Tracker 4D：3次元常時微動トモグラフィに時間軸を加えた4次元地盤可視化技術。						Eポジョント：ねじ部の鉄筋同士をカブラで接合する機械式鉄筋継手工法。カブラを用いることで、従来のガス圧接継手のような施工手間がなくなり、投量や天候に左右されないため約40%の工期短縮を実現 フリップパー：せん断補強鉄筋や中間荷鉄筋のフックの代替として、定着性能を有する円型プレートを摩擦接合した機械式定着工法で、鉄筋使用量の削減や施工性向上でトータルコストダウンが可能					
豊国工業						伊藤製鐵所					
D-68						D-69					
1000年先も地球でいたい。 先人の技術の結晶を現代の技術で磨き上げ未来へつなぐ						当社は電気炉で鉄筋（異形棒鋼）を製造・販売する会社です。 生産性向上、および温室効果ガス排出削減に寄与する製品を紹介します。 伊藤製鐵所は、一度使われた鉄スクラップを再処理し新たに鉄筋として生まれ変わらせ、資源の有効活用と豊かな社会の建設の両立を追求する電炉メーカーです。 鉄筋工の効率化及び生産性向上、温室効果ガス排出削減に寄与する製品を中心に展示します。 Eポジョント：ねじ部の鉄筋同士をカブラで接合する機械式鉄筋継手工法。カブラを用いることで、従来のガス圧接継手のような施工手間がなくなり、投量や天候に左右されないため約40%の工期短縮を実現 フリップパー：せん断補強鉄筋や中間荷鉄筋のフックの代替として、定着性能を有する円型プレートを摩擦接合した機械式定着工法で、鉄筋使用量の削減や施工性向上でトータルコストダウンが可能					
地盤注入開発機構						バルテム技術協会 関東支部					
D-71						D-72					
進化する薬液注入工法 液状化対策工・高強度地盤強化・低炭素注入工法・DX注入技術を推進						一純国産技術の管更生工法一					
地盤注入開発機構は、薬液注入分野の5協会を統合して2003年6月に設立され、地盤改良における薬液注入の技術開発に努めております。 長期研究費を主要テーマとして「産学共同研究」により「環境・耐久・浸透」をテーマとした「現場の土そのものを素材とする薬液注入工法」の技術革新を進めてきました。 その研究成果は多様な地盤条件に対応する統合地盤注入工法、液状化対策工、高強度地盤強化、低炭素注入工法、DX注入技術へと進んでおります。 施工実績として、恒久グラウトは2,000件以上（注入量10億ℓ以上）、シリカソルゲラウトは国内50,000件以上、海外100件以上の実績を有しております。						バルテム技術協会は、純国産技術の更生工法のバイオニアとして所有する主要3工法のもつ特性を最大限活用し提案力と技術力で皆様のご要望にお応えいたします。 【製管工法】バルテム・フローリング工法 φ800mm以上の自然流下の下水道幹線、農業用水路等 【形成工法】バルテムSZ工法 φ150～φ800mmまでの自然流下の下水道本管等 【反転工法】ホースライニング工法、バルテムHL工法 φ100～φ1000mmまでの内外圧管路、上水道、工業用水、農業用水等					
くい丸						くい丸					
D-73						D-73					
プロユーザーを中心に、20年以上愛され続ける 打ち込み杭のスタンダード、くい丸						プロユーザーを中心に、20年以上愛され続ける 打ち込み杭のスタンダード、くい丸					
くい丸は、仮設・鉄道・道路工事向けを中心に、累計1000万本の出荷を誇る打ち込み杭のスタンダードです。 2022年度グッドデザイン賞受賞商品。						くい丸は、仮設・鉄道・道路工事向けを中心に、累計1000万本の出荷を誇る打ち込み杭のスタンダードです。 2022年度グッドデザイン賞受賞商品。					

C-XROSS 2024 Construction Xross 2024				集まれ！未来の創造者たち。			
DTSインサイト		ライト工業		小島組			
D-74		D-75		D-76			
オフィスや詰め所からでも現場を把握できるダッシュボード「サイトダイバー」リアルタイム映像と4Dをつなぐダッシュボードが建設現場の労働生産性を向上します。		「国土を守るプロフェッショナル」―卓越した技術力と情熱で日本の国土を支える「特殊土木工事」のリーディングカンパニー―		世界の港に湾力（わんりょく）を。― 港を支える浚渫って？ ―		小島組は、大正8年の創業以来、浚渫をはじめとする港湾土木事業を広く行っています。 「浚渫（しゅんせつ）」とは、港湾の海底にある土砂を取り除き航路をつくる“海の道路工事”。とも言える仕事。世界最大のグラブ浚渫船「五洋」など多くの浚渫船を有し、国内外での工事に参画しています。 近年、日本の国際戦略港湾や世界各地の港湾では大型船が安全に航行できるよう航路を増深・拡幅することが求められており、浚渫の重要性が増しています。 世界トップレベルの浚渫技術で世界中の港を活性化することが私たちの挑戦であり、地球環境と港湾整備の調和が求められる今、小島組が開発した作業船は環境に優しく安全で効率的な社会づくりに貢献します。	
現場にいくなくても現場がわかる！ カメラを操作して現場の「今」の確認や、3Dモデルと映像を使って「過去」や「未来」の工事進捗の把握など、使い方は貴社次第。Webブラウザ1つで完結するので、朝礼の前にタブレットで、Web会議で、いつでもすぐに現場の状況を確認できます。 追加機能のご相談にも柔軟に対応します。AIカメラやセンサーと連携した危険区域や夜間監視の自動化、導入済みシステムとの連携なども可能ですので、ぜひご相談ください。 貴社独自の「サイトダイバー」で、現場の労働生産性向上を実現しましょう。		当社は、斜面对策工事・地盤改良工事など「特殊土木工事」のパイオニアとして、国土の防災やインフラ整備を通じて社会に大きく貢献してきました。 今回、ICT技術を中心に斜面对策技術として、Automatic-Shot R、DCネット工法、ESネット工法、Robo-Shotを、地盤改良技術としてACSシステム、CCSクラウド、ICT-JETなどを展示いたします。 創業80年で培った豊富な経験と確かな技術のもと、常に時代の最先端技術に挑戦し、これからも人々が安心できる強く豊かな国土形成に尽力してまいります。 皆さまのご来訪、心よりお待ちしております。		いであ		D-79	
MetaMoJi		フジブレコン		いであインフラDX ～ゲームエンジンの活用とAIの力～			
D-77		D-78					
建設DXを強力に推進し、2024年問題対策を。施工管理支援アプリ「eYACHO」		生コンを使わず即日開放ができる自由勾配側溝		当社では、より良い未来のインフラ管理に向けて3次元データや仮想空間などのデジタル技術を活用したインフラDXに関わる技術開発に取り組んでいます。 例えば、河川DXでは、ゲームエンジンを用いた3次元イメージにより整備後の河川をリアルに表現でき、自然環境創出のイメージ伝達が容易です。作成したイメージは、3次元設計データに変換してICT施工に活用でき、治水と環境の両立を目指した川づくりを可能とします。また、VR技術によってデジタル空間で表現し、鳥になって空から、魚になって水中から河川をみる疑似体験ができます。更に、経年変化を3Dデジタルデータとして記録することで仮想タイムマシーン体験も可能となります。			
eYACHO（イーヤチョウ）で、建設現場の働き方を飛躍的に改革！ 大林組と共同開発した「eYACHO」は、図面も資料もペーパーレスにして、ひとつに集約。朝礼、安全衛生会議、安全パトロール、昼夜引継、図面チェックなど、さまざまな現場業務に活用できる、建設現場アプリです。 リアルタイムな書き込み共有・ビデオ通話機能により、現場や事務所など離れた場所でも確実なコミュニケーションが取れるため、無駄な移動時間も削減できます。安全衛生日誌など書類や報告書の作成も簡単に現場で入力でき、事務所への持ち帰り業務を削減します。アナログな道具をデジタル化してスマートな働き方を実現、建設業界を取り巻く2024年問題への対策もスムーズに対応可能です。		スリットタイプの自由勾配側溝「SEEKi側溝」は、現場打ちだったインパートコンクリートでプレキャスト化した「インパート一体型」のスリット自由勾配側溝です。 インパートとスリット自由勾配側溝本体を工場で合体して現場へ納入します。 よって現場でインパートを均す作業がなくなり即日開放、工期短縮が可能になりました。 横断にも対応可能で乗入や工場造成でもグレーチングを使わず安価に施工可能です。		ケミカルグラウト		D-82	
循環式ハイブリッドブラストシステム工法協会		協同組合Masters ジオテツ工法研究会		アিসクリート・耐高水圧アンカー・バルーンボディアンカー			
D-80		D-81		D-82			
安全かつ高い作業効率で廃棄物を最大限に削減できる新工法		鋼矢板残置は既に過去の話。鋼矢板を安心して引抜けるオンリーワン工法。ジオテツ（土留部材引抜同時充填）工法でリユースに貢献します。		アিসクリート 凍土は大深度、高地下水圧下の工事などで高い地盤強度と不透水性を発揮します。強固にするための材料は地盤中に何も加えないので、環境への負荷も少ない自然に最も優しい地盤改良工法です。 耐高水圧アンカー 特殊止水装置・閉塞型ビット・ケーシングパッカーを使用し、高い水圧下で、水・土砂の噴出を防ぎ周辺環境に悪影響を与えないで安全に健全なアンカーを造成することが可能です。 バルーンボディアンカー 鋼製チューブ（Balloon Body）にグラウトを注入して円柱状に膨張させ、摩擦型アンカーで対応が困難な軟弱地盤でも高耐力を得ることができます。			
橋梁補修補強工事において、鋼構造物の素地調整（1種クレン）やコンクリート劣化部のチップングを行う循環式機械付ブラスト工法で、エアープラスト（加圧式）工法などに代わる新しい工法です。 研削材（スチール等）を鋼材表面に衝突させ、その研削材と衝突し剥がれ落ちた廃棄物を同時に吸引し、打撃遠心分離法により研削材と廃棄物を分離し研削材を再利用することができます。 研削材を再利用することにより、通常のエアープラストで使用される1㎡当り30kgの研削材を循環再利用することで、破棄物の量を削減できる効果があります。また、電気制御版で操作等も簡単になっているため、特殊な機械元の操作者も必要なく労務コストも削減できます。		従来工法（薬液注入工法）と比較し、施工性や品質で優れ、効率的な施工・管理が可能です。残置埋め殺しに比べ格段に工事費用の縮減ができます。工事実績も徐々に増加し、現時点では900件を超えています。高規格道路や鉄道に近接した土留杭の引抜において各管理者の基準（許容沈下量等）を満たした施工が可能となります。 また、都市部のビル等の民間建物への近接施工においても、周辺地盤の沈下を抑制し安全に引き抜けます。更に、貴重な有限資源である鋼材を無駄にすることなく資材として有効にリユースが可能となり、資源リサイクル、建設事業で発生するエネルギーのミニマム化、事業損失の未然防止、多方面にわたり大きく貢献する工法です。		大林組		D-85	
高洋商会		日新インダストリー		大林組の低炭素型建設材料技術			
D-83		D-84		D-85			
透明型枠 透（クリア）フォーム&透水ボード型枠アクアトール		防錆も環境対応もめめっきも！ 溶融亜鉛めっきに関するお悩みなら弊社にお任せください		大林組は「地球・社会・人」のサステナビリティの実現への一環として、低炭素資材の開発・実用化を進めていきます。低炭素型コンクリート「クリーンクリート」は、CO ₂ 排出量を最大80％低減でき、これまでの累積打設量は2023年度末時点で42万㎡に達しています。そのほか、産業副産物を活用しカーボンネガティブを実現する「クリーンクリートN」や木質バイオマスを使用し長期間CO ₂ を固定できる「リグンクリート」などの低炭素型資材を新たに開発しており、今後も現場での適用拡大やさらなる技術開発・実用化を進めていきます。当社ブースでは、実物、パネルを用いてご説明します。是非お立ち寄りください。			
透明型枠クリアフォームは打設管理を可視化し、高品質で安心・安全なコンクリート仕上がりに必要不可欠な型枠技術です。使用資材は累計3000現場を突破し、橋脚下部上部工、護岸、トンネル、庁舎、防衛施設などあらゆる躯体工事に使用が可能です。 透水ボード型枠アクアトールは業界初「ボード」型の透水型枠です。コンクリート中の余剰水を排出することで、高品質なコンクリートに仕上がることはもちろん、気泡（アバタ）が軽減せず、美観も向上します。またボードである利点は取り付けに掛かっていた手間の短減や敏発生心の心配がゼロになります。現場の声を反映して10年以上経て開発した透水型枠の新基準を提案いたします。		創造と挑戦をモットーに、お客様のニーズに応える製品開発を続ける溶融亜鉛めっき補修塗料メーカーです。今展示では、ジンクリッチペイントや変性エポキシ樹脂塗料など、建設現場でご活用いただきたいさまざまな塗料・補修剤を多数紹介します。これらのメイン製品に加え、有機剤・特化則フリーの環境対応型塗料やめめっき剤、白さび除去剤など、ご注目いただきたい製品を多数ご用意。幅広く、かつニッチなニーズにお応えする豊富なラインナップから、お客様のにお悩みに寄り添ったご提案をさせていただきます。ぜひ、会場の皆様のお悩み事をお聞かせください！		先端建設技術センター		D-88	
レフィクシア		竹中土木		【出展技術2】 NETIS新技術情報提供システム登録申請支援事業 【出展技術2】 ～建設発生土のトレーサビリティシステム～		【出展技術1】 先端建設技術センターでは、民間事業者により研究・開発された新技術が国土交通省の運営するNETIS新技術情報提供システムへ早期に登録されることを目指して、民間事業者が行う登録申請の支援を行います。 【出展技術2】 土砂の搬出・受入地点にスマホを設置、クンプ専用のICカードを搬出・受入地点のスマホにタッチすると土砂運搬の発着記録一覧がデータ化し適正処理の確認と帳票作成の効率化が図れます。	
【LRTK】 スマホで簡単点群と高精度位置方位情報付き写真撮影による現場DX		時代のニーズと社会の要請に応え続ける		【出展技術1】 先端建設技術センターでは、民間事業者により研究・開発された新技術が国土交通省の運営するNETIS新技術情報提供システムへ早期に登録されることを目指して、民間事業者が行う登録申請の支援を行います。 【出展技術2】 土砂の搬出・受入地点にスマホを設置、クンプ専用のICカードを搬出・受入地点のスマホにタッチすると土砂運搬の発着記録一覧がデータ化し適正処理の確認と帳票作成の効率化が図れます。			
レフィクシアは高精度GPS端末LRTKと測位DXシステムを提供しています。 LRTK Phoneは水平誤差±2cm、高さ誤差±3cm程度の測位が可能な端末で、受け取った座標をiPhoneで活用します。 3D点群をスマホ1台で取得できる機能や点検箇所の写真をcm精度の位置情報付きで撮影できる機能があり、写真や3D点群をWebクラウドで一元管理できます。 現場でインフラ点検箇所の記録や確認にご活用いただけます。 取得した3D点群データからその場で簡単に盛土の体積の計算も可能です。		当社は、竹中工務店グループの一員として、経営理念に「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」を掲げ、一貫して土木分野を基盤に、社会資本の整備を通じて、人々の豊かな暮らしと社会の発展に力を尽くしてきました。 本技術展では、以下の技術をご紹介します。 ・VRによる現場の遠隔確認を実現する「遠隔臨場実証」※実際に体験できます。 ・調査・検査の無人化を実現する「自律走行ロボ」 ・図面への自己位置が表示できるアプリ「測らてず」 ・汚染地盤の省エネ加温高速浄化システム「温促バイオ」		飛鳥建設		D-91	
建設物価調査会		青木あすなろ建設		―「飛鳥建設」から「飛鳥（トビシマ）へ」―			
D-89		D-90		D-91			
土木関連部品のCADデータライブラリ「i-部品Get」		水深7mまでの浅水域で水中掘削の威力を発揮する『水陸両用ブルドーザ』 固定とエネルギー吸収で橋脚の耐震性能を向上させる制震デバイスの「DRFダンパー」		社会変革のスピードはさらに加速し、SDGs・ESG・カーボンニュートラルへの対応など、企業経営には、広く社会に目を向けた積極的な取組み姿勢が求められています。 当社は、トビシマのDNAであり、社会に向けた積極的な取組み姿勢が求められています。 「トビシマのDNAであり、社会に向けた積極的な取組み姿勢が求められています。」を原動力に、DXを軸とした「企業のサステナビリティの実現」、創業精神である「利他利己」の実践を通じた「社会のサステナビリティへの貢献」、そしてその両立を目指すSX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）経営を推進してまいります。			
「i-部品Get」は、土木関連部品のCADデータダウンロードサイトです。 「i-部品Get」では、データのオープン化を実現。メーカー各社の「コンクリート製品」「道路用製品」「橋梁用製品」など、土木関連部品における2次元（2D）、3次元（3D）のCADデータおよび製品関連情報を多数掲載、ダウンロードしてお使いいただけます。 掲載メーカー、会員相互の生産性の向上に向けて、当サイトを広くお役立てください。会員登録、ダウンロードは無料で提供しています。		水陸両用ブルドーザ（作業水深7m）／1971年以来1,200件以上の施工実績があり、河道掘削工事、ダム堆砂除去、港湾、漁港、魚場などの整備維持工事や災害復旧工事でも活躍しています。 2022年新たにマシンガイダンス機能を搭載し、ICT施工対応となりました。 また、電動式の次世代水中施工ロボットの実証にコマツと共同して取り組んでおり、2025大阪・関西万博の未来社会ショーケース事業「フューチャーライブ万博・未来の都市」にコマツと共同出展します。 その他の技術／DRFダンパー		リモート・センシング技術センター		D-94	
協和製作所		信越産業		衛星画像を活用しよう！―地表面変位計測サービス「RISE」―			
D-92		D-93		D-94			
河川の洪水、高潮・高波、津波に対し無動力、無人操作で的確に開閉作動する水門・樋門用の自動ゲート設備		新設から既設までコンクリート構造物を支える材料メーカー		我々、リモート・センシング技術センターは、衛星画像や衛星リモートセンシングに関する研究開発から運用・利用に至る総合力でトータルソリューションを提供し、環境問題、災害、国土管理、農林水産など様々な分野の社会課題の解決に取り組んでおります。 今回、建設技術展2024開会でご紹介するサービスは衛星画像のみから地表面の変位を計測するもので、広範囲を一度に計測し、国内外問わず対象箇所及びその周辺の地表面変位の状況を正確に把握します。 近年、様々な分野で衛星画像の利活用が進んできている中、弊財団のブースがご来場者様にとって有益な情報収集の場になると幸いです。 皆様のお越しをお待ちしております！			
『オートフラップゲート』及び『オートフリップゲート・L型』は、河川や海岸の水門・樋門に適用できる無動力無人操作方式の自動ゲート設備です。大雨や台風による河川の増水、或いは高潮・高波、津波発生に対し、管理者の操作を必要とせず、また停電による動力制御電源の喪失に関係なく、適宜・的確に開閉作動し、確実な自動止水と円滑な自動排水を行うことができます。 各々『ドビンジ式』と『トヒンジ式』の異なるフリップ形式の特性を活かし、作動制御と任意操作の機能整備を図り、設置場所の条件や設備用途に対応した安全で効果的な自動ゲート設備を提供できるよう技術の研究開発を進めています。		当社は、コンクリート構造物を「新しく造る。から」維持管理。までをサポートする材料メーカーです。コンクリート型枠離型剤（レジンシリーズ）をはじめとした「新設構造物の製造効率と美観性を高める製品」から『老朽化した構造物の寿命を延ばすための断面修復工法（リプロング工法）と材料』までの多様な製品ラインナップで、コンクリート構造物に関する幅広い製品を提供しています。当社の製品は、CO ₂ 削減や環境負荷低減、作業者の安全といった社会的な課題にも積極的に取り組み、お客様の多様なニーズにワンストップで応えます。日本各地の拠点網を活かし、迅速かつきめ細やかなサポート体制でお客様のプロジェクトを支えています。		ソーキ		D-97	
矢崎総業		三井化学産資		我々ソーキは「計測技術で新しい世紀を創造したい」を原点に「技術力」と「現場力」であたらしい「はかる」にチャレンジしています。			
D-95		D-96		D-97			
矢崎はデジタルタコグラフ（運行記録計）からデータを蓄積し、安心安全な道路交通社会へ貢献する「商用车プローブデータ」を提供しております。		剥落防止！ 中性化・塩害・凍害対策！ 耐衝撃性向上！ ポリウレタ樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術「タフネスコート工法」 土木学会技術評価第0026号 NETIS登録QS-210065-A		私たちソーキは、測量機器・計測機器レンタルで培ってきたノウハウから生み出したオリジナルシステムにより、ただはかるだけでなく、はかるによる未来創造を実践します。 『はかる』＋『レンタル』＝『ソーキ』の展示ブースへ是非お越しください。			
業務用車両（商用车）に搭載が義務付けられているデジタルタコグラフから運行情報を取得し「商用车プローブデータ」としてご提供しております。 矢崎の通信型デジタルタコグラフにて、商用车の運行情報を24時間365日、休む事無く、位置情報や加速度等・豊富な種類のデータを高密度（0.5秒）で取得し蓄積しております。 そのデータは1日で2,600万km（※2023年9月時点）を超える大容量プローブデータです。 プローブデータから「走行経路」「通行量・平均通行時間」「ヒヤリハット情報」などを分析し、道路計画や、交通施策の効果分析・活用が可能で、安心安全な道路交通社会へ貢献するデータです。		タフネスコート工法は、コンクリート構造物の表面に専用のビュアポリウレタ樹脂（タフネスコート）を吹付けすることにより、機能保持・向上を必要とされるコンクリート構造物の要求条件に合わせて4つの機能（効果）、剥落防止・耐久性向上、耐衝撃性向上及び耐水性確保を個別あるいは同時に発現可能な技術です。本技術は従来水工法として多く実績があるものの、十分に検証されていなかったポリウレタ樹脂の科学性に着目し、その効果を実証試験及び解析により検証しました。 施工は下地処理、プライマー塗布、タフネスコート吹付の三工程とシンプルで施工短縮に期待できます。社会インフラの長寿命化にタフネスコート工法、ご検討をお願いします。		国際航空		D-100	
日本国土開発		圧力調整注入技術研究会		3次元空間解析をはじめとする高い技術力と革新性で、建設DXの実現を強力にサポートいたします！			
D-98		D-99		D-100			
回転式破砕砕混合工法による建設発生土リサイクル技術		海外からの評価が高いひび割れ注入技術		国際航空は地理空間情報技術のリーディングカンパニーとして、最先端の計測技術と幅広いコンクリート技術を活用しており、建設業界において当社の技術力が新たな価値を生み出しています。 当社に高い技術力により、ドローンによる計測で取得した高精度な3次元点群データを活用し、3次元空間解析を通じて現場の状況を迅速に可視化・最適化することができます。また、SAR衛星を用いた地表モニタリングを組み合わせてすることで、リスク管理と安全性向上を実現。最先端の技術で建設現場に変革をもたらします。 会場では3次元空間解析のデモンストレーションなどを実施しています。ぜひブースまで足をお運びください。			
本技術は、従来工法では対応困難な高含水比粘性土や軟岩などの建設発生土も均一に攪拌混合が可能な土砂改良技術です。また、振動ふるい機と風力選別装置を併設することで、土砂の粒度改善、強度改善、ガレキの分別除去の3つの処理を大量かつ連続的に1つのプラントで行うことができます。本技術で改良した良質な土は築堤、路盤材料等への活用が図れます。近年では、豪雨被害を受けた地域の河川工事等で多く採用され、災害に強い国土づくりに貢献し、これまでに1,200万㎡の改良実績を有します。さらに、これまでの環境への取り組みが評価され「令和3年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」において国土交通大臣賞を受賞しました。		ひび割れ表面からコンクリート補修材を注入する真空吸着機能を有する注入機とコンクリート構造物の内部から注入する特殊ノズル型注入機を用いてひび割れ補修工法です。この工法は、注入性能・適応能力・経済効率に優れた画期的なコンクリートひび割れ注入技術です。この技術は、接着養生が不要な注入技術であり、低圧から高圧まで注入圧力を調整できる、補修材（無機・有機）を選ばない、複数の材料を連続して注入できる等の特長があります。さらに、従来技術と比較し優れているのは、ひび割れの深部から表面部までの確に注入することが可能であることと、注入機を繰り返し使用するため廃棄物が発生せず、環境負荷が低いことです。		サンシャインシティ展示ホールC・D（文化会館ビル2F・3F）		D-100	
ミラテクトローン		3次元データを簡易に取得して測量業務を効率化 様々なシミュレーションに対応！素早く現地の状況を3次元に		ミライト・ワングループではマブリーの3D技術を活用して、あらゆる分野での調査・測量・点検業務を効率化する現場ツールを共同で展開しています。 ① 手軽に点群を取得 LIDARは据え付け不要、スマホから短時間でデータの取得が可能 ② 圧倒的な低コスト LIDAR機器は25万円からの提供を実現 ③ シーンに応じたラインナップ 近、中、長距離の現場データ取得、ポケット式、バックパック式など ④ 1人でできるスマート測量 アプリケーション、LiDAR、GNSSレシーバーの組み合わせ自在で、現場で、1人で簡単に3次元計測が可能 ⑤ 測量業務の効率化 現況測量や杭の探索、図面化など測量業務を効率化するアプリケーションで、簡単な操作で精度の高い点群データを取得		10：00～17：00（最終日は16：00まで） 皆さまのご来場を お待ちしております。	
西武建設		D-100					
接触作業を目的としたソフトハンド搭載ドローン		撮影や測量など非接触作業が主であった建設用ドローン界において、「接触作業」領域での活用を目指し、人間の両腕のような2つのロボットアームの先端に実寸大のシリコン製ハンド（ソフトロボットハンド）をドローンに搭載した。 建設作業者が使う多様な工具（ドリルやブローワ等）を把持させ、空中での手作業を可能にするコンセプトにより、2023年4月には特許を出願している。 今後、建築物維持管理の省略化実現に向け、削孔の位置決めや加圧方法などの接触・微破壊式ドローン技術をより高度化し、建築工事や建築物の耐久性評価への適用も見据えた研究を展開していく。					